

# 柏市健康増進計画

## 平成29年度 進捗状況報告書

平成30年8月

# 目 次

1	栄養・食生活	1
2	身体活動・運動	9
3	休養・こころの健康	17
4	喫煙	22
5	飲酒	27
6	歯・口腔の健康	30
7	糖尿病	38
8	循環器疾患	42
9	がん	46

表の見方	【事業名】	* : 事業名, 事業概要, 指標が全て再掲であるもの
		※ : 事業名は再掲だが, 事業概要または指標が異なっているもの
	【ライフステージ】	○ : 該当
		△ : 一部該当

1. 栄養・食生活

(1)適正体重を維持するための知識の普及																	
①成人女性のやせ(20歳代)[BMI 18.5未満]及び成人男性の肥満[BMI 25.0以上]の減少																	
②児童・生徒の肥満[標準体重の+20%以上]の減少																	
③体重の変化を気にしている人(成人)の割合の増加																	
所管課	事業名	事業概要 (対象者・内容等)	連携機関	期待する効果	ライフステージ						実績値 (実施回数・参加者数・参加率等)	平成29年度取り組みの成果、今後の課題 と考察及び平成30年度の取り組みにつ いて	平成31年度の方向性	委員の評価・アドバイス			
					乳幼児期	学童期	思春期	成年期	壮年期	高齢期							
保健所 健康増 進課	給食施設指 導事業	①個別指導(各施設を個 別に巡回し、現地指導を 実施。電話、来所による 相談 ②集団指導(テーマに応 じ職種別、施設種類別に 研修会を開催) ③調査報告(各給食施設 の運営・栄養管理状況を 把握するため年2回調査 実施)	他課 (学校保健課・ 保育運営課)  柏市保健所管 内集団給食研 究会	・肥満及びやせ の割合の減少  ・啓発媒体活用 増加	△	△	△	○	○	△	給食施設指導件数	平成26年度より各施設における肥 満及びやせの割合を把握している。 平成29年度と平成26年度の結果を 比較し、国基準の+5%以上の施設 に対し、改善に向けての計画を立て 実施できるよう指導・助言した。 ・3年分のデータを活用してクロス集 計し、多方面から改善策を検討す る。 ・喫食者への直接的な指導が難し い施設で活用できる媒体を作成し、 個別指導を行うきっかけづくりの支 援を引き続き行う。	・各施設の割合変動 を確認し、増加傾向 にある施設や、該当 割合が多い施設にお ける改善対策の指 導・助言を継続して行 う。 ・新たな改善案を検 討し、積極的に取り組 んでいく。				
					H25	H26	H27	H28	H29	34件	22件				35件	29件	33件
					「肥満に該当する者の割合」の増加施設割合 (国基準:、H26年度比+5%以上)					—	—				1.0%	1.0%	2.8%
					「やせに該当する者の割合」の増加施設割合 (国基準:、H26年度比+5%以上)					—	—				1.0%	1.0%	0.9%
					「肥満に該当する者の割合」の増加施設割合 (各施設における前年度比増)					—	—				47.0%	41.0%	48.1%
					「やせに該当する者の割合」の増加施設割合 (各施設における前年度比増)					—	—				39.0%	37.0%	39.8%
学校教 育部 学校保 健課	学校給食提 供事業 (小学校)	給食を生きた教材とし て、児童を対象に適切な 摂取量や、成長に必要な 栄養分を習得する。  また、養護教諭と連携 し、咀嚼の重要性や栄養 バランスの取れた食事、 栄養と運動の両面を意 識することで、健康な生 活習慣を習得するた めの食育事業を行う。	学校歯科医	定期健康診断 における肥満 【標準体重の+ 20%以上】の人数の減少							給食実施回数(平均)	定期健康診断において肥満度+2 0%以上の割合を減らすことが できた。  平成30年度においても、給食を生 きた教材として、児童を対象に適切 な摂取量や成長に必要な栄養素に ついて指導していく。  学校栄養職員・栄養教諭と養護教 諭とが連携し、健康な生活習慣を習 得するための食育の授業を行う。  平成28年度より、「やせに該当する ものの割合」を指標として追加す る。	歯科医と連携して実 施する「よく噛んで食 べるとよいこと」の授 業は効果的であり、 多くの学校でも実践 できるよう、指導案の 公開や授業公開を し、多くの学校で積極 的に実施するよう働 きかける。				
					H25	H26	H27	H28	H29	185回	185回				185回	185回	185回
					対象者数					21,430	21,448				21,525	21,690	21,917
					肥満【標準体重の+20%以上】の人数					1,432人	1,430人				1,396人	1,506人	1,515人
					肥満【標準体重の+20%以上】の割合					6.7%	6.7%				6.5%	6.9%	6.9%
					やせ【標準体重の-20%以上】の人数					258人	347人				262人	284人	304人
					やせ【標準体重の-20%以上】の割合					1.2%	1.6%				1.2%	1.3%	1.4%

所管課	事業名	事業概要 (対象者・内容等)	連携機関	期待する効果	ライフステージ						実績値 (実施回数・参加者数・参加率等)	平成29年度取り組みの成果、今後の課題 と考察及び平成30年度の取り組みにつ いて	平成31年度の方向性	委員の評価・アドバイス				
					乳幼児期	学童期	思春期	成年期	壮年期	高齢期								
学校教育 部 学校保 健課	学校給食提 供事業 (中学校)	給食を生きた教材とし て、生徒を対象に適切な 摂取量の体得、成長に 必要な栄養分を習得す る。  また、養護教諭と連携 し、咀嚼の重要性や栄養 バランスの取れた食事、 栄養と運動の両面を意 識することで、健康な生 活習慣を習得するため の食育事業を行う。	学校歯科医	定期健康診断 における肥満 【標準体重の+ 20%以上】の人 数の減少						△ (中学生のみ)	給食実施回数(平均)					平成29年度取り組みの成果、今後の課題 と考察及び平成30年度の取り組みにつ いて  定期健康診断において肥満度+2 0%以上の割合を減らすことがで きた。  平成30年度においても、給食を生 きた教材として、児童を対象に適切 な摂取量や成長に必要な栄養素に ついて指導していく。  学校栄養職員・栄養教諭と養護教 諭とが連携し、健康な生活習慣を習 得するための食育の授業を行う。  平成28年度より、「やせに該当する ものの割合」を指標として追加す る。	肥満の割合が増える 傾向にある時期で、 ダイエットへの意識も 高まってくる。痩身も 含め、適正な体重管 理ができる正しい知 識を指導していく。	
											H25	H26	H27	H28	H29			
											180回	180回	180回	180回	180回			
											対象者数							
											9,886人	9,909人	9,936人	9,939人	9,852人			
											肥満【標準体重の+20%以上】の人数							
											746人	778人	704人	719人	714人			
											肥満【標準体重の+20%以上】の割合							
											7.5%	7.9%	7.1%	7.2%	7.2%			
											やせ【標準体重の-20%以上】の人数							
251人	295人	247人	231人	251人														
やせ【標準体重の-20%以上】の割合																		
2.5%	3.0%	2.5%	2.3%	2.5%														
保健福 祉部 福祉政 策課 地域包 括支援 課	柏フレイル予 防プロジェク ト2025	「フレイル(虚弱)」という 概念を新たに取り入れ、 市民、関係団体、学識経 験者、市による「推進委 員会」を設置・運営しな がら、健康づくり事業の 効果的な運動と地域を基 盤とした市民主体の活動 を推進	医師会、歯科医 師会、薬剤師 会、東京大学、 ふるさと協議 会、社会福祉協 議会、民生委員 児童委員、柏市 民健康づくり推 進員、スポーツ 推進委員、東葛 北部栄養士会、 リハビリテーショ ン連絡会、地域 包括支援セン ターなど	市民の意識・行 動変容(栄養、 身体活動、社会 参加の促進)						○ ○ ○	推進委員会実施回数					フレイル予防に係る事業や活動に ついては、見える化するなど共有を 図ることは出来たが、関係者全体 が運動する動きには至らず課題と なった。 平成30年度は、地域としての評価 に着手する「フレイルチェックの充実 と地域活動との連動」と市域全体で 広く認識してもらう「フレイル予防の 効果的な啓発活動」を特に強調して 取り組むべき事項として実施する。 【H30具体的活動】 フレイルチェック:地域サロン、居場 所等でのフレイルチェック、講座を 地域包括支援センターを軸に市内 全域で展開。 効果的な啓発活動:周知・広報の予 算(200万円)を活用して横断幕、フ ラッグの掲示やコンテンツ作りを実 施(福祉政策課、地域包括支援課、 健康増進課、企画調整課がコアメン バー)及び健康づくり庁内連絡会議 を利用し、前述の啓発活動の共有 及び活動の仕掛け、実装に向けた 支援に取り組む。	フレイル予防の普及・ 啓発と効果的な促 進、地域における市 民主体の活動の促 進、フレイル予防に係 る関係機関の連携・ 連動を推し進めフレ イル予防によるまちづ くりの実現を目指して いく。	
											H25	H26	H27	H28	H29			
											-	-	1回	3回	3回			

所管課	事業名	事業概要 (対象者・内容等)	連携機関	期待する効果	ライフステージ						実績値 (実施回数・参加者数・参加率等)	平成29年度取り組みの成果、今後の課題 と考察及び平成30年度の取り組みについ て	平成31年度の方向性	委員の評価・アドバイス				
					乳幼児期	学童期	思春期	成年期	壮年期	高齢期								
保健福祉部 地域包括支援課	フレイル予防事業	主に高齢者に対するフレイル(介護予防)事業のうち、栄養をテーマとしたプログラムについて、管理栄養士等が講座を行う。	東葛北部在宅栄養士会、地域包括支援センターなど	市民の意識・行動変容(栄養の改善)					○	○	フレイル予防講座(栄養)の参加者数					平成29年度は介護予防センターのあり方について検討を行い、講座参加者の自主化支援を行っていくこととした。 平成30年度は、地域団体と連携した講座展開を図り、自主化を進める。	自主化支援を進めていく。	
											H25	H26	H27	H28	H29			
											介護予防センター主催の教室							
											—	—	—	133人	74人			
											フレイル予防出前講座							
											—	—	—	85人	145人			
地域包括支援センター主催の教室																		
—	—	—	372人	250人														
市民生活部 保険年金課	柏市国民健康保険 特定保健指導	特定健診の結果よりメタボリックシンドロームのリスクのある対象者を抽出し、6ヵ月間の生活習慣改善のための特定保健指導を実施。	・柏市医師会 ・JA(ちば東葛、東葛ふたば、いちかわ) ・千葉県厚生農業共同組合連合会	生活習慣病の発症及び重症化の予防					○	○	特定保健指導実施率					通知や電話で特定保健指導の利用勧奨を行ったこと、初回支援開始期間を平成28年度の対象者から延長したことにより実施率は向上した。また質の高い「特定健診・特定保健指導」の実施のため、健診実施医療機関及び特定保健指導の指導担当者を対象に腎臓病専門医による研修会を実施した。 平成30年度も引き続き、生活習慣病の早期発見と重症化予防のため、健診結果やレセプト等の健康・医療情報に基づき策定している「第2期データヘルス計画」に基づき、特定保健指導実施率の向上に向けた取り組みを継続実施する。併せて「糖尿病性腎症重症化予防事業」や「柏市CKD医療連携システム」、「健康講座」等、かかりつけ医と専門医等と連携した生活習慣病予防対策につながる特定保健指導を実施していく。	「柏市国民健康保険第3期特定健診等実施計画」や国が示す「第3期特定健診・特定保健指導」に基づき、特定保健指導の支援期間見直し(6ヵ月経過後から3ヵ月経過後実績評価)等、保健指導実施率の向上に向けた取り組みを推進していく。さらに医療機関や衛生部門等、関係部署との連携による生活習慣病の発症、重症化予防の取り組みにつなげていく。	
											H25	H26	H27	H28	H29			
											18.9%	15.0%	20.1%	21.4%	11月1日以降確定			

所管課	事業名	事業概要 (対象者・内容等)	連携機関	期待する効果	ライフステージ						実績値 (実施回数・参加者数・参加率等)	平成29年度取り組みの成果、今後の課題 と考察及び平成30年度の取り組みについ て	平成31年度の方向性	委員の評価・アドバイス													
					乳幼児期	学童期	思春期	成年期	壮年期	高齢期																	
～H28 保健所 成人健 診課 H29～ 市民生 活部 保険年 金課	健康づくり相 談	健康診査の結果により、 生活習慣改善の必要な かたに、保健師・管理栄 養士が個別相談を行い、 個人の生活に即した具 体的なアドバイスを行う。		健康診査の結果により、生活 習慣改善の必要なかたに、保 健師・管理栄養士が個別相談を 行い、個人の生活に即した具 体的なアドバイスを行う				○	○	○	相談者数					平成29年度から保険年金課で特定 健診の結果、保健指導に該当しな い方や75歳以上の健診、18歳から 39歳までの健康診査の受診後の 事後フォローとして実施している。 平成30年度も引き続き、健診結果 等を元に、対象者の相談内容に即 してアドバイスを行うことで、生活習 慣の改善を図り、生活習慣病の予 防と重症化予防の取り組みを推進 していく。	「第2期データヘルス 計画」に基づき、生活 習慣病対策として、衛 生部門や介護部門 等、関係部署との連 携体制の構築を検 討、実施していく。										
										H25	H26	H27	H28	H29	132人				88人	115人	98人	35人					
保健所 健康増 進課	へるすアップ 相談	●平成29年度より実施 柏市健康診査、骨粗し ょう症検査の結果、生活習 慣改善の必要なかたに、 保健師・管理栄養士が個 別相談を行い、個人の生 活に即した具体的なアド バイスを行う。		健診結果を踏ま えて自らの生活 習慣を振り返り、主体的に健 康づくりに取り 組むことができ る				○	○	○	相談利用率(骨粗しょう症検査受診者)					骨粗しょう症検査にて予防域となっ た方1172名のうち、125名(利用率 10.7%)、柏市健康診査にてB判定 (生活習慣の改善が必要)となっ た方51名のうち、8名(利用率15.7%) が相談を利用。勧奨通知の送付に より、予定枠を超えた申し込みが あったことから、相談枠を増設し対 応した。平成30年度においても、申 し込み状況を踏まえ、相談枠の増 加や会場を検討し、利用率の向上 に取り組む。	引き続き対象者が利 用しやすい相談体制 を整えとともに、40 ～50代の対象者への アプローチの方法を 検討する。										
										H25	H26	H27	H28	H29	—				—	—	—	10.7%					
										相談利用率(柏市健診受診者)													—	—	—	—	15.7%

(2)野菜の摂取量の増加																			
④野菜摂取量の増加の割合(成人)																			
所管課	事業名	事業概要 (対象者・内容等)	連携機関	期待する効果	ライフステージ						実績値 (実施回数・参加者数・参加率等)	平成29年度取り組みの成果、今後の課題 と考察及び平成30年度の取り組みについ て	平成31年度の方向性	委員の評価・アドバイス					
					乳幼児期	学童期	思春期	成年期	壮年期	高齢期									
保健所 健康増 進課	給食施設指 導事業 (※)	①個別指導(各施設を個 別に巡回し、現地指導を 実施。電話、来所による 相談 ②集団指導(テーマに応 じ職種別、施設種類別に 研修会を開催) ③調査報告(各給食施設 の運営・栄養管理状況を 把握するため年2回調査 実施)	他課 (学校保健課・ 保育運営課)  柏市保健所管 内集団給食研 究会	・給食施設の食 品構成における 野菜摂取量の 増加 ・野菜料理の残 渣量の減少 ・ヘルシーメ ニューの提供増 加 ・啓発媒体活用 増加	△	△	△	○	○	△	給食施設指導件数	・集団指導として、給食施設従事者 研修会において、栄養管理につ いて説明し、適切な野菜摂取量を確認 できる献立とするよう、指導・助言 していく。 ・個別巡回において、食品構成や野 菜摂取量についての聞き取りに力 を入れ、必要に応じて助言してい く。	・個別巡回で聞き取り をした野菜摂取量に ついて考察し、新たな 改善案や啓発案を検 討する。						
											H25				H26	H27	H28	H29	
											34件	22件	35件	29件	33件				
保健所 地域保 健課	啓発事業	イベント等の中で運動、 食、タバコ等健康に関す る啓発を実施。一般市民 を対象とし、幅広いテー マについての啓発を行 う。	庁内関係各課  柏市民健康づく り推進員  各種団体及び 企業関係	幅広いライフス テージの市民を 対象にポピュ レーションア プローチをす ること、健康に関す る気づきの場を 作る。	○	○	○	○	○	○	啓発実施者数(全数)	柏市の各地域における推進員の協 力を得ることにより、一定の周知・ 啓発活動を展開することができた。 平成30年度も、健康教育や啓発等 を実施し、地域における健康づく りを推進する。	引き続き、健康教育 や啓発等を実施し、 地域における健康づ くりを推進する。						
											H25				H26	H27	H28	H29	
											-				6,109人	5,235人	4,869人	3,979人	
											啓発実施者数(栄養・食生活)								
											H25	H26	H27	H28	H29				
											-	1,681人	365人	1,076人	290人				
保健所 健康増 進課	啓発事業	イベント等の中で運動、 食、タバコ等健康に関す る啓発を実施。一般市民 を対象とし、幅広いテー マについての啓発を行 う。	庁内関係各課  各種団体及び 企業関係	幅広いライフス テージの市民を 対象にポピュ レーションア プローチをす ること、健康に関す る気づきの場を 作る。	○	○	○	○	○	○	啓発実施者数(全数)	バランスのよい食生活や食育レシ ピ、減塩に関するリーフレットを作成 し、伝えたいことを絞り、啓発を実 施。 平成30年度は、野菜を中心に引き 続きバランスのよい食生活や減塩 等についても啓発を行っていき たい。	増進計画の目標値達 成に近づける内容の 啓発を行っていく。						
											H25				H26	H27	H28	H29	
											-				6,109人	5,235人	4,869人	1,872人	
											※H29年度～ 柏市民健康づくり推進員活動については別掲								
											H25	H26	H27	H28	H29				
											-	1,681人	365人	1,076人	918人				
											※H29年度～ 柏市民健康づくり推進員活動については別掲								

所管課	事業名	事業概要 (対象者・内容等)	連携機関	期待する効果	ライフステージ						実績値 (実施回数・参加者数・参加率等)					平成29年度取り組みの成果、今後の課題 と考察及び平成30年度の取り組みについ て	平成31年度の方向性	委員の評価・アドバイス								
					乳幼児期	学童期	思春期	成年期	壮年期	高齢期	①登録店舗数／②参加者数															
											H25	H26	H27	H28	H29											
保健所 健康増 進課	栄養改善事 業	平成29年度新規事業 ①「野菜を食べよう柏協 力店」事業 ②「柏シェフ'Sキッチン」 事業	①柏市保健所 管内調理師会 庁内関係各課 ②柏市保健所 管内調理師会 市内の大学 庁内関係各課	①野菜を食べる ことのできる食 の環境整備とす る。 ②主に20歳 代、30歳代の 若い世代に周 知をし、食に関 心を持たせる場 とすること。ま た、友達づくり の場とする。	△	△	△	○	△	△	①登録店舗数／②参加者数					①協力店の登録条件を29年度途 中に見直し、登録店舗は8店舗と なった。30年度は、調理師会理事 会や食品衛生講習会で本事業の周 知を行い、登録店舗数の増加を図 る。環境整備と併せて、市民への 野菜摂取についての啓発を行う。 ②29年度に調理実習を2回する予 定だったが、1回目の参加者が少 なかったこと、費用対効果等、事 業全体の見直しが必要となり、 2回目は未実施。事業終了とし た。	①市民の野菜摂取量 増加を目指し、環 境整備と共に、市民 への啓発を他の事業 とも関連させて実施 していく。									
											-	-	-	-	①8店舗 ②8名											
経済産 業部 農政課	食の安全・ 安心対策推 進事業	市職員が農産物をサン プリングし、放射性物質 検査を行う。また、検査 結果についてホームペー ジや広報などを通じて公 表。	①千葉県 ②一般財団法 人 千葉県環境 財団	食の安全・安心 を確保する。				○	○		検査品目数・検体数					消費者の不安を取り除き、安心して地 元の農産物を購入できるよう継続的 に検査を実施していく。また、検査 の頻度等に関しては、放射性物質 による影響範囲を見極めながら、 費用と効果のバランスを配慮しな がら実施していく。	検査や生産者への助 言等を通じて、引き 続き食の安全安心を 確保していく。また 適宜、情報を発信 することで、風評被 害の防止に取り組ん でいく。									
											99品目 412検体	63品目 213検体	52品目 239検体	48品目 133検体	30品目 80検体											



(3)朝食を意識した、バランスのよい食生活の普及																		
⑤朝食の欠食率の減少																		
⑥食事のバランスのよい割合(成人)の増加																		
所管課	事業名	事業概要 (対象者・内容等)	連携機関	期待する効果	ライフステージ						実績値 (実施回数・参加者数・参加率等)	平成29年度取り組みの成果、今後の課題 と考察及び平成30年度の取り組みについ て	平成31年度の方向性	委員の評価・アドバイス				
					乳幼児期	学童期	思春期	成年期	壮年期	高齢期								
保健福祉部 地域包括支援課	栄養改善事業	国が定めた「2次予防事業対象者把握事業」により選定された「低栄養ハイリスク者」の中から、栄養個別相談の希望者に対して、在宅に訪問し、食生活のアセスメントから、栄養指導・栄養相談・調理実習の実践を経て(6回訪問)、適正体重を保ち、要介護状態の予防を図るもの	①東葛地区在宅栄養士会 ②包括支援センター	低栄養の改善						○	栄養改善事業参加状況							
											H24	H25	H26	H27	H28			
											対象者数							
											232	269	349人	廃止	—			
											参加者数							
6	9	7人	廃止	—														
保健所 地域保健課	母子保健食育	<ママパパ学級・ママパパクッキング> 妊娠期の食生活支援  <離乳食教室> 離乳食のすすめ方  <母と子のつどい・歯ピカ・幼児健診> 栄養講話と個別相談		「バランスのとれた食事を規則正しくとる健康的な食習慣」を定着させるため、母子保健サービスを活用し、健康づくりの意識づけをする。	○					△	3歳児健康診査における主食・主菜・副菜をそろえた朝食の率					朝食の内容をみると、主食・主菜・副菜をそろえた割合は微増している。 妊娠期から幼児期の食への関心が高まる時期に、各事業を通じて家族の健康づくりのためのバランスの良い食事について啓発を行い意識付けができた。 引き続き、切れ目ない支援を実施していく。	引き続き、各事業を通じてバランスのとれた食事について啓発をしていく。	
											H25	H26	H27	H28	H29			
											—	28.0%	22.8%	23.6%	24.8%			
保健所 健康増進課	栄養改善事業 (※)	・栄養士業務連絡会(栄養改善・健康増進等の支援の推進を検討) ・健康ちば協力店登録推進(健康づくりの取り組みを実施する飲食店の登録) ・栄養関係団体育成(栄養・健康づくりを担う関係団体の育成) ・講演会の企画(食育推進研修会、給食施設従事者研修会、千葉県調理師講習会講師)	・柏市保健所管内調理師会 ・柏市保健所管内集団給食研究会 ・柏市医師会	関係課、関係団体との連携により食事のバランスのよい割合が増加	△	△	△	△	△	△	研修会実施回数					・栄養士業務連絡会では、市民の健康増進を目的に各部署の栄養士が課題を共有して事業に取り組めるよう情報交換を行った。また、栄養士の人材育成のガイドとなる「柏市行政栄養士業務関係資料」を作成した。30年度は行政栄養士としての資質向上を目的に研修会を開催する予定。 ・改定された食生活指針、給食施設での適正な栄養管理等をテーマに関係団体と共催で研修会を実施した。30年度も食に関する研修会を企画・実施する予定。	栄養士だけでなく、食に関わる他職種、関係団体と連携し、バランスの良さを意識した食事が摂れる市民を増やす。	
											H25	H26	H27	H28	H29			
											3回	3回	3回	3回	3回			

所管課	事業名	事業概要 (対象者・内容等)	連携機関	期待する効果	ライフステージ						実績値 (実施回数・参加者数・参加率等)	平成29年度取り組みの成果、今後の課題 と考察及び平成30年度の取り組みについ て	平成31年度の方向性	委員の評価・アドバイス				
					乳幼児期	学童期	思春期	成年期	壮年期	高齢期								
こども部 保育運 営課	クッキング保 育	園児が種まきをする前 に、豊作を願い集会を開 き、栽培～収穫への意欲 を育てる。保育園の園児 が、作物を栽培し、育て た作物と同じ野菜を利用 し、5歳児がクッキングを 行い食べる。	各公立保育園 の保育士、調理 員と保育運営課 栄養士との連携 ※一部の保育 園では、地域住 民との連携有 り。	自分たちで育て たものを、友達 と一緒に調理 し、食べる喜び を味わうことで、 食に関心を持 つ。	○						クッキング保育実施園数					園児が自分たちで栽培収穫した野 菜と同じ種類の野菜を使用すること で、栽培から調理までを関連付けて 取り組むことができた。また、苦手 な野菜など、調理方法によって食べ られることに気が付き、バランスの よい食生活に向けた、きっかけ作り ができた。クッキング保育の実施後 は家庭でも料理をつくるなど、食へ の興味が広がった。 園児が日々の給食においても、より 関心をもてるよう調理員との交流 や、また、家庭での会話や知識の 普及につながるよう食育を進めてい く。 また、給食日よりレシピを紹介し 保護者へ情報発信をしていく。	園児へ食育を通し て、家庭での会話や 知識の普及により、 バランスの良い食事 につながるようなクッ キング保育を継続し ていく。	
											H25	H26	H27	H28	H29			
生涯学 習部 中央公 民館	成人教育事 業 「食育講座」	食に関する課題を踏ま え、講義や調理実習など をとおして、食に関する 知識や関心を高める。	—	豊かで健全な食 生活を実践でき る							講座実施状況					腸の働きと食生活の大切さを学ぶ 講座を実施した。 平成30年度も内容を充実させて実 施していく。	中央公民館の休館を 予定しているため、実 施については、未確 定である。	
											H25	H26	H27	H28	H29			
											実施回数							
											2回	2回	2回	2回	1回			
参加者数																		
42	59	26	24人	27人														
学校教 育部 学校保 健課こ ども部 保育運 営課 保健所 地域保 健課	子ども健康 プロジェクト	子ども健康プロジェクト の一環として、柏市の学 校給食のメニューを学校 給食クックパッドに掲載。 パソコンや携帯からも アクセスして、レシピを確 認することができ、パ リエーションに富んだ給食 メニューを家庭で作るこ とができる。	学校保健課、保 育運営課、地域 保健課の栄養 士が連携し掲 載。	簡単にバリエー ションに富んだ 人気のある給食 メニューを周知 することで、調 理をする意欲を 高める。	○	○	○	○	○		年間レシピの閲覧数(年度)と月平均閲覧数					平成27年1月から毎月2レシピ程度 掲載。 平成29年度からは、保育園給食及 び離乳食を掲載し、より若い世代が 活用しやすい内容として取り組む。	継続し、関係各課連 携のもと取り組んでい く。	
											H25	H26	H27	H28	H29			
-	-	-	年間閲覧 数 395,550件	年間閲覧 数 231,996件														
			月平均 32,962件	月平均 19,333件														

2. 身体活動・運動

(1)運動習慣の定着																			
①運動習慣者の割合の増加																			
②20～59歳のほとんど運動していない人の割合の減少																			
所管課	事業名	事業概要 (対象者・内容等)	連携機関	期待する効果	ライフステージ						実績値 (実施回数・参加者数・参加率等)	平成29年度取り組みの成果、今後の課題と考察及び平成30年度の取り組みについて	平成31年度の方向性	委員の評価・アドバイス					
					乳幼児期	学童期	思春期	成年期	壮年期	高齢期									
地域づくり推進部 秘書課	各種スポーツ教室の開催	<p>&lt;JR野球教室&gt; 市内中学校23校の中学2年生を対象に、JR東日本野球部の選手達をコーチに招き開催</p> <p>&lt;バスケットボール教室&gt; 市内ミニバスケットボールチームに所属している小学生を対象にJX-ENEOSサンフラワーズの選手をコーチに招き開催</p> <p>&lt;ティーボール教室&gt; 実施希望のあった市内小学校を対象にYBC柏の選手をコーチに招き開催</p> <p>&lt;ランニングクリニック&gt; 市内在住・在勤・在学の方を対象に積水化学女子陸上競技部の選手をコーチに招き開催</p>	<p>JR東日本野球部</p> <p>JX-ENEOSサンフラワーズ</p> <p>YBC柏</p> <p>積水化学女子陸上競技部</p>	<p>市のスポーツを活かしたまちづくりの推進</p> <p>参加者の技術向上やホームタウンチームである柏市への愛着を深めること</p>							各スポーツ教室参加者合計	<p>幅広い年齢層を対象に各種スポーツ教室を開催し、スポーツに触れる機会を提供した。平成30年度も引き続きホームタウンチームと連携し、各種スポーツ教室を開催する。</p>	<p>ホームタウンチームと連携した事業を展開することで、市民が柏市への愛着を深めるとともに、東京オリンピック・パラリンピックに向けスポーツへの関心や参加機会を増進し、スポーツを活かしたまちづくりを推進する。</p>						
											H25				H26	H27	H28	H29	
											事業効果のあった参加者割合								
保健福祉部 障害福祉就労支援センター	介護予防事業(運動でからだ元気塾)	要介護状態に陥る可能性のある高齢者に対し、専門職が、個々の身体機能に応じた運動内容を助言し、実践する。	地域包括支援センター	週に1回、6ヶ月間にわたり運動を行うことで、自身に必要な運動方法を理解し、運動習慣の定着が図れる。								H24	H25	H26	H27	H28	二次予防事業から一次予防事業として広く普及啓発するため、平成26年度をもって廃止。平成27年度からロコモフィットかしわ事業に移行した。		
											ロコモフィットかしわ参加者数								
保健福祉部 地域包括支援課 市民生活部 保険年金課	フレイル予防事業(ロコモフィットかしわ)	市民の身近な地域において、ロコモティブシンドローム(運動器症候群)の予防に関する座学と運動指導を行う。  (40～64歳の国保被保険者も含む)	柏市在宅リハビリテーション連絡会、東京大学高齢社会総合研究機構、地域包括支援センターなど	市民が主体的にロコモ予防に取り組むことで、生活習慣病予防、介護予防を推進する。								H25	H26	H27	H28	H29	ロコモフィットかしわ参加者の増加を図ると共に、参加者の自主活動化を進めている。平成29年度に制作した「かしわロコレ！」体操の活用により、さらなる自主活動の拡大を図る。	ロコモフィットかしわはフレイル予防の一環であることが市民に伝わりにくいため、仕様書を見直し、プログラムの中にフレイルチェックの案内チェックを導入する等の取り組みを行う。	
												127人	658人	1,018人	1,168人	1,340人			

所管課	事業名	事業概要 (対象者・内容等)	連携機関	期待する効果	ライフステージ						実績値 (実施回数・参加者数・参加率等)	平成29年度取り組みの成果、今後の課題と考察及び平成30年度の取り組みについて	平成31年度の方向性	委員の評価・アドバイス									
					乳幼児期	学童期	思春期	成年期	壮年期	高齢期													
保健福祉部 福祉政策課 地域包括支援課	柏フレイル予防プロジェクト2025 (* )	「フレイル(虚弱)」という概念を新たに取り入れ、市民、関係団体、学識経験者、市による「推進委員会」を設置・運営しながら、健康づくり事業の効果的な運動と地域を基盤とした市民主体の活動を推進	医師会、歯科医師会、薬剤師会、東京大学、ふるさと協議会、社会福祉協議会、民生委員児童委員、柏市民健康づくり推進員、スポーツ推進委員、東葛北部栄養士会、リハビリテーション連絡会、地域包括支援センターなど	市民の意識・行動変容(栄養、身体活動、社会参加の促進)								推進委員会実施回数		フレイル予防に係る事業や活動については、見える化するなど共有を図ることは出来たが、関係者全体が運動する動きには至らず課題となった。 平成30年度は、地域としての評価に着手する「フレイルチェックの充実と地域活動との運動」と市域全体で広く認識してもらう「フレイル予防の効果的な啓発活動」を特に強調して取り組むべき事項として実施する。 【H30具体的活動】 フレイルチェック:地域サロン、居場所等でのフレイルチェック、講座を地域包括支援センターを軸に市内全域で展開。 効果的な啓発活動:周知・広報の予算(200万円)を活用して横断幕、フラッグの掲示やコンテンツ作りを実施(福祉政策課、地域包括支援課、健康増進課、企画調整課がコアメンバー)及び健康づくり庁内連絡会議を利用し、前述の啓発活動の共有及び活動の仕掛け、実装に向けた支援に取り組む。	フレイル予防の普及・啓発と効果的な促進、地域における市民主体の活動の促進、フレイル予防に係る関係機関の連携・運動を推進しフレイル予防によるまちづくりの実現を目指していく。								
					H25	H26	H27	H28	H29	-	-	1回	3回				3回						
保健福祉部 地域包括支援課	フレイル予防事業 (※)	主に高齢者に対するフレイル(介護)予防事業のうち、身体活動をテーマとしたプログラムについて、リハビリテーション専門職、運動トレーナー等が講座を開催する。	柏市在宅リハビリテーション連絡会、柏市社会福祉協議会、柏市地域包括支援センターなど	市民の意識・行動変容(身体活動の促進)								フレイル予防講座(運動)の参加者数					平成29年度は介護予防センターのあり方について検討を行い、講座参加者の自主化支援を行っていくこととした。 平成30年度は、地域団体と連携した講座展開を図り、自主化を進める。	自主化支援を進めている。					
					H25	H26	H27	H28	H29	-	-	-	8,625人	6,387人									
					介護予防センター主催の教室																		
					フレイル予防出前講座																		
					地域包括支援センター主催の教室																		

所管課	事業名	事業概要 (対象者・内容等)	連携機関	期待する効果	ライフステージ						実績値 (実施回数・参加者数・参加率等)	平成29年度取り組みの成果、今後の課題と考察及び平成30年度の取り組みについて	平成31年度の方向性	委員の評価・アドバイス				
					乳幼児期	学童期	思春期	成年期	壮年期	高齢期								
保健所健康増進課	地域ウォーク	<p>&lt;手賀沼ふれあいウォーク&gt; 歩くことが好きな市民を増やす目的で開催する。</p> <p>&lt;ウォーキングパスポート&gt; 身近な運動である「歩くこと」が好きな市民が増え、主体的・積極的な健康づくりが進められるよう、ウォーキングパスポートの活用促進を展開する。</p>	市民ウォーキング団体 千葉県ウォーキング協会 我孫子市	<p>・歩くことが好きな市民が増える</p> <p>・市民が運動を始めるきっかけとなる</p>	△	○	○	○	○	△	実施状況					<p>&lt;手賀沼ふれあいウォーク&gt; 昨年度に引き続き、早朝から荒天のため参加者が少ない状況が続いている。天候に左右されやすい屋外のイベントであるため、今後の実施等に向けては我孫子市を含めた関係団体と検討をしていく。平成30年度については例年より周知の時期を早め、多くの参加を募る予定。</p> <p>&lt;ウォーキングパスポート&gt; 平成29年度より内容を改訂し、配布方法も変更した結果、より多くの市民に配布することができた。今後は関係機関と連携し、内容の充実を図り、運動習慣のない市民の運動を始めるきっかけづくりのひとつとなるようさらに周知を強化する。</p>	運動習慣のない市民がそれぞれのライフスタイルに合わせて取り組めるよう情報を整理し、関係機関と連携を図り、情報提供を行っていく。また、ウォーキングを気軽に取り組めるよう地域でのウォーキングイベントをウォーキング団体と連携し、開催に向けての準備を進めていく。	
											H25	H26	H27	H28	H29			
											手賀沼ふれあいウォーク実施回数							
											1	1	1回	1回	1回			
											手賀沼ふれあいウォーク参加者数							
											773	842人	1,189人	207人	295人			
											ウォーキングパスポート発行数							
388冊	597冊	224冊	123冊	2,289冊														
保健所地域保健課	啓発事業 (※)	<p>&lt;地域ウォーキング&gt; 柏市民健康づくり推進員が主催し、各地域で住民同士の仲間づくりとウォーキングをはじめのきっかけづくりを図る</p> <p>柏市民健康づくり推進員が主催するウォーキング以外の運動講座</p>	<p>庁内関係各課 柏市民健康づくり推進員 各種団体及び企業関係</p>	<p>・市民が運動を始めるきっかけとなる</p> <p>・市民の運動時間が増える</p>	○	○	○	○	○	○	実施状況					<p>平成29年度は、各地域の地域特性や健康課題に応じて、実施し、一定の参加者数を得た。平成30年度も、各地域の地域特性や健康課題に応じながら、フレイル予防、ロコモ等の柏市として進める運動活動を、他部署と連携を図り、周知啓発をしていく。</p>	引き続き、健康教育や啓発等を実施し、地域における運動活動を推進する。	
											H25	H26	H27	H28	H29			
											地域ウォーキング実施回数							
											18	16回	12回	17回	12回			
											地域ウォーキング参加者数							
											274	235人	251人	374人	151人			
											地域健康講座実施回数							
4	7回	10回	13回	31回														
地域健康講座参加者数																		
98	257人	470人	557人	593人														
保健所地域保健課	啓発事業 (※)	地域サロン等を中心とした健康教育や各イベントの中で運動、食、タバコ等健康に関する啓発および地域支援を実施。一般市民を対象とし、幅広いテーマについての啓発を行う。	<p>庁内関係各課 柏市民健康づくり推進員 各種団体及び企業関係</p>	幅広いライフステージの市民を対象にポピュレーションアプローチをすることで、健康に関する気づきの場を作る。	○	○	○	○	○	○	依頼の健康教育実施者数(全数)					<p>地域サロンを中心とした依頼の健康教育が主となるが、日ごろの地域活動を生かし、多くの依頼があるよう周知・啓発を行う。依頼のテーマだけでなく、運動やタバコなど健康に関する内容を付加し実施していく。</p>	引き続き、健康教育や啓発等を実施し、地域における運動活動を推進する。	
											H25	H26	H27	H28	H29			
											-	-	-	2,298人	2,169人			

所管課	事業名	事業概要 (対象者・内容等)	連携機関	期待する効果	ライフステージ						実績値 (実施回数・参加者数・参加率等)	平成29年度取り組みの成果、今後の課題と考察及び平成30年度の取り組みについて	平成31年度の方向性	委員の評価・アドバイス					
					乳幼児期	学童期	思春期	成年期	壮年期	高齢期									
保健所健康増進課	啓発事業 (※)	イベント等の中で運動、食、タバコ等健康に関する啓発を実施。一般市民を対象とし、幅広いテーマについての啓発を行う。	庁内関係各課 各種団体及び企業関係	幅広いライフステージの市民を対象にポピュレーションアプローチをすることで、健康に関する気づきの場を作る。	○	○	○	○	○	○	啓発実施者数(全数)					握力測定や立ち上がりテスト等の体験を行ったり、運動に関するリーフレットを配布。市で開催しているウオークの参加勧奨も実施した。 30年度も同様に運動習慣を促す啓発を実施していく。	増進計画の目標値達成に近づける内容の啓発を行っていく。		
											H25	H26	H27	H28	H29				
											-	6,109人	5,235人	4,869人	1,872人				
											啓発実施者数(身体活動・運動)								
											-	1,430人	2,394人	2,173人	1,315人				
											※H28年度までは、柏市民健康づくり推進員の活動を含む								
生涯学習部スポーツ課	スポーツ施設予約システム	利用者の利便性を図る。	-	スポーツ施設利用者数の増加				○	○	○	○	スポーツ施設利用者数					スポーツ施設予約システムの利用方法の周知、スポーツ大会等の情報提供を行い、利用者の利便性を図った。	スポーツ施設利用者数の増加を図るため、システムを継続して運用していく。	
												H25	H26	H27	H28	H29			
												783,387人	859,519人	838,827人	888,964人	885,602人			
生涯学習部スポーツ課	学校体育施設開放	市民の地域におけるスポーツ活動の振興を図る。	市内各小中学校	利用者数の増加				○	○	○	○	学校体育施設利用者数					利用団体の自主的運営促進のため、利用団体から選出される総括管理責任者を連絡調整の中心とする形とした。 平成30年度は、他自治体の事業運営方法を調査し、抜本的な見直しを含め事業のあり方を検討していく。	より多くの市内スポーツ団体が学校体育施設開放を利用できるよう、申請受付方法や利用許可条件の見直しを行っていく。	
												H25	H26	H27	H28	H29			
												334,952人	354,612人	355,702人	345,890人	319,042人			
生涯学習部スポーツ課	スポーツ推進委員活動	地域スポーツの推進役として、日ごろスポーツをしない人への動機づけなどを行い、スポーツ実施率の向上を図る。	柏市スポーツ推進委員協議会	参加者増加とスポーツ実施率の向上	○	○	○	○	○	○	○	スポーツ推進委員活動参加者数					推進委員の募集をホームページや広報を活用し、委員を増員及び活動の充実を図った。平成30年度は委員の増員について募集チラシ等を作成し、PRを強化していく。	市民のスポーツ活動を更に推進していくため、委員の増員を図り、スポーツ推進委員の活動を更に充実させるよう支援していく。	
												H25	H26	H27	H28	H29			
												2,876人	2,528人	3,002人	2,986人	2,944人			
生涯学習部スポーツ課	総合型地域スポーツクラブの育成	クラブが活動する拠点の確保や運営のためのスタッフの確保、クラブを知ってもらうための広報活動を支援する。	市内総合型地域スポーツクラブ	市内クラブの会員数の増加				○	○	○	○	市内クラブ会員数					各団体の活動場所について調整などを行うとともに広報活動により参加者の募集を行う。	会員数の増加を図るため、引き続き広報活動により市内総合型地域スポーツクラブの支援をしていく。	
												H25	H26	H27	H28	H29			
												1,131人	995人	1,315人	1,234人	1,134人			

所管課	事業名	事業概要 (対象者・内容等)	連携機関	期待する効果	ライフステージ						実績値 (実施回数・参加者数・参加率等)	平成29年度取り組みの成果、今後の課題と考察及び平成30年度の取り組みについて	平成31年度の方向性	委員の評価・アドバイス				
					乳幼児期	学童期	思春期	成年期	壮年期	高齢期								
生涯学習部 スポーツ課	スポーツ教室・講習会	スポーツへの参加を促進するため、市主催の事業の他体育協会や指定管理者によるスポーツ教室を開催する。	柏市体育協会 柏市スポーツ推進委員協議会 他	参加者の増加	○	○	○	○	○	○	スポーツ教室・講習会参加者数					平成28年度から市民参加体験型のスポーツイベントを開催し、スポーツを「する」きっかけづくりの場を提供した。指定管理者による自主事業では、「柏市スポーツ施設情報誌」やホームページ、広報などの媒体を使い周知を図っている。	市民がスポーツに親しむことができるよう、より多くの機会を提供していく。	
											H25	H26	H27	H28	H29			
生涯学習部 スポーツ課	補助金の交付	スポーツ団体に対し補助金を交付することで、スポーツ事業の充実を図る。	柏市体育協会 柏市家庭婦人スポーツ協会 スポーツ少年団	交付団体の市民大会などの参加者の増加				○	○	○	交付団体の市民大会などの参加者数					補助金の交付により、交付団体主催による市民大会等の事業が開催され、交付団体の事業の充実を図られている。	引き続き補助金を交付し、スポーツ事業の充実を図っていく。	
											H25	H26	H27	H28	H29			
生涯学習部 スポーツ課	新春マラソン大会	市民を対象としたマラソン大会を開催する。	柏市体育協会 柏市スポーツ推進委員協議会 他	参加者の増加				○	○	○	新春マラソン大会参加者数					平成29年度は、市外からの参加も可能とし、幅広い参加者の増員を図った。 平成30年度は、実行委員会へのスポーツ少年団の加入や優勝者への賞品の授与などの仕掛けにより子どもや親子の参加を中心に参加者の増加を図りたい。	子どもや親子の参加を促す広報活動を強化していく。	
											H25	H26	H27	H28	H29			
生涯学習部 スポーツ課	手賀沼エコマラソン大会	市民の健康増進と街の活性化、及び手賀沼の浄化啓発を図る。	柏市体育協会 柏市スポーツ推進委員協議会 他	参加者の増加				○	○	○	手賀沼エコマラソン大会参加者数					平成29年度は市民枠を1,000名増やしたことで、エントリー数は10,000人を超えたが、当日の出場者は台風の影響で6,000人程度となってしまった。 平成30年度は、ランナーにとってより満足度の高い大会とするため、会場レイアウトや大会運営等を見直していく。	平成31年度で第25回記念大会となるため、ランナー確保に向けて、完走者への特典をつける等、魅力ある大会を作り上げていく。	
											H25	H26	H27	H28	H29			
生涯学習部 中央公民館	成人教育事業「いきいき健康ライフ講座」	長寿社会の中で元気にいきいきと過ごす手立てを学ぶ	—	運動することの喜びや運動に対する達成感を味わう				○	○	○	いきいき健康ライフ講座参加者					ヨガ体験を通して、心も体もリフレッシュし、健康で明るい日々を送るきっかけづくりとなった。平成30年度も引き続き実施していく。	中央公民館の休館を予定しているため、実施については、未確定である。	
											H25	H26	H27	H28	H29			

所管課	事業名	事業概要 (対象者・内容等)	連携機関	期待する効果	ライフステージ						実績値 (実施回数・参加者数・参加率等)	平成29年度取り組みの成果、今後の課題と考察及び平成30年度の取り組みについて	平成31年度の方向性	委員の評価・アドバイス			
					乳幼児期	学童期	思春期	成年期	壮年期	高齢期							
学校教育 部 指導課	学校体育の 促進関連事 業	①「新体力テスト」の実施 市内小中学校児童生徒・ 握力等計8項目  ②「小学校体育授業サ ポート事業」 小学校10校・特別支援学 級を中心とした体育の授 業支援  ③「運動部活動指導者派 遣事業」 中学校運動部活動・専門 的な指導ができる運動部 活動指導者の派遣	千葉県小中 学 校 体 育 連 盟 柏 支 部	①児童生徒の 体力向上  ②支援を必要と する児童の運動 への意欲・技能 の向上  ③運動部活動 に加入している 生徒の意欲・技 能の向上	○	△				①全国平均を上回る項目					①に関しては、多くの項目が全国平均以上となっており、一定の成果はあがっている一方で瞬発力、持久力、投力に関して課題が浮き彫りになっている。次年度以降も結果分析と対策を各校に周知し、体力向上を目指したい。 ②に関しては、NPOの専門スタッフを配置している8校から高い満足度を得ているが、市内の大半の学校が配置を要望に対して、1/5の学校にしかスタッフを配置できないのが現状である。よって、配置が必要な学校を見極め、適切な配置を行い、最大限の効果があげられるよう運用していきたい。 ③に関しては、外部指導者を市内全中学校に配置している。専門外の顧問も多くいるため、指導者からの専門的な指導により、意欲・技能が向上している事例が多数見受けられる。	①分析ソフトの活用による綿密な実態把握と好事例の周知により、全国平均を上回る項目60%を目指す。  ②各学校の要望を聞きながら、事業の在り方についても見直しを行うことで、より良い方向性を検討する。  ③生徒の意欲・技能の向上を図るとともに、安全・安心な部活動運営ができるよう、運動部活動指導者への啓発を行う。	
										H25	H26	H27	H28	H29			
										62.5%	52.1%	47.9%	43.7%	38.1%			
										②年間210時間の授業支援・実施校の満足度							
										100%	100%	100%	100%	100%			
③中学校運動部活動指導者派遣数					各校 2~5人 計80人	各校 2~5人 計80人	各校 2~5人 計80人	各校 3~5人 計87人	各校 3~5人 計87人								
学校教育 部 教育研 究所	幼児教育の 推進(柏市 幼児教育共 同研究)	幼児教育の今日的課題をもとに、研究テーマ(運動遊び)を設定し、教育委員会と市内全幼稚園・全保育園が共同で実践研究を実施。	教育委員会 市内全幼稚園 市内全保育園	教職員の力量と専門性の向上  幼児の体力・運動能力の基礎を培う	○					実施幼稚園数					平成29年度は、運動遊びの充実を重点に取り組んだ。園児の運動能力測定と生活調査から、多様な運動遊びの経験があると運動能力が高い傾向が見られた。各園で運動遊びの分析を行い、不足している動きを補う運動遊びを考えて実践した。平成30年度は、各園でめざす子供の姿を明確にし、さらに多様な動きを取り入れた実践をしていく。また、「共同研究のあゆみ」の冊子の活用を図っていく。	継続して実施する。	
										H25	H26	H27	H28	H29			
										33園	33園	33園	33園	33園			
										実施幼稚園児数							
										5,752人	5,633人	5,574人	5,336人	5,064人			
										実施保育園数							
										41園	51園	56園	63園	66園			
										実施保育園児数							
1,733人	1,866人	2,013人	2,051人	2,150人													



(2)身体活動・運動に取り組みやすい環境づくり

③1日の歩行時間の増加

④地域活動やボランティア活動への参加意識向上

所管課	事業名	事業概要 (対象者・内容等)	連携機関	期待する効果	ライフステージ						実績値 (実施回数・参加者数・参加率等)	平成29年度取り組みの成果、今後の課題と考察及び平成30年度の取り組みについて	平成31年度の方向性	委員の評価・アドバイス				
					乳幼児期	学童期	思春期	成年期	壮年期	高齢期								
保健所 地域保健課	啓発事業 (※)	地域サロン等を中心とした健康教育や各イベントの中で運動、食、タバコ等健康に関する啓発および地域支援を実施。一般市民を対象とし、幅広いテーマについての啓発を行う。	庁内関係各課 柏市民健康づくり推進員 各種団体及び企業関係	幅広いライフステージの市民を対象にポピュレーションアプローチをすることで、健康に関する気づきの場を作る。	○	○	○	○	○	○	啓発実施者数(全数)					柏市の各地域における推進員の協力を得ることにより、一定の周知・啓発活動を展開することができた。 平成30年度も、健康教育や啓発等を実施し、地域における健康づくりを推進する。	引き続き、健康教育や啓発等を実施し、地域における健康づくりを推進する。	
											H25	H26	H27	H28	H29			
											-	6,109人	5,235人	4,869人	3,979人			
											※～H28年度については、下記内容と再掲							
					啓発実施者数(身体活動・運動)					握力測定や立ち上がりテスト等の体験を行ったり、運動に関するリーフレットを配布。市で開催しているウォークの参加勧奨も実施した。 30年度も同様に運動習慣を促す啓発を実施していく。	増進計画の目標値達成に近づける内容の啓発を行っていく。							
					啓発実施者数(身体活動・運動)													
					-													
					※～H28年度については、下記内容と再掲													
保健所 健康増進課	啓発事業 (*)	イベント等の中で運動、食、タバコ等健康に関する啓発を実施。一般市民を対象とし、幅広いテーマについての啓発を行う。	庁内関係各課 各種団体及び企業関係	幅広いライフステージの市民を対象にポピュレーションアプローチをすることで、健康に関する気づきの場を作る。	○	○	○	○	○	○	啓発実施者数(全数)					握力測定や立ち上がりテスト等の体験を行ったり、運動に関するリーフレットを配布。市で開催しているウォークの参加勧奨も実施した。 30年度も同様に運動習慣を促す啓発を実施していく。	増進計画の目標値達成に近づける内容の啓発を行っていく。	
											H25	H26	H27	H28	H29			
											-	6,109人	5,235人	4,869人	1,872人			
											※H28年度までは、柏市民健康づくり推進員の活動を含む							
					啓発実施者数(身体活動・運動)					＜手賀沼ふれあいウォーク＞ 昨年度に引き続き、早朝から荒天のため参加者が少ない状況が続いている。天候に左右されやすい屋外のイベントであるため、今後の実施等に向けては我孫子市を含めた関係団体と検討をしていく。平成30年度については例年より周知の時期を早め、多くの参加を募る予定。  ＜ウォーキングパスポート＞ 平成29年度より内容を改訂し、配布方法も変更した結果、より多くの市民に配布することができた。今後は関係機関と連携し、内容の充実を図り、運動習慣のない市民の運動を始めるきっかけづくりのひとつとなるようさらに周知を強化する。	運動習慣のない市民がそれぞれのライフスタイルに合わせて取り組めるよう情報を整理し、関係機関と連携を図り、情報提供を行っていく。また、ウォーキングを気軽に取り組めるよう地域でのウォーキングイベントをウォーキング団体と連携し、開催に向けての準備を進めていく。							
					啓発実施者数(身体活動・運動)													
					-													
					※H28年度までは、柏市民健康づくり推進員の活動を含む													
保健所 健康増進課	地域ウォーク (*)	＜手賀沼ふれあいウォーク＞ 歩くことが好きな市民を増やす目的で開催する。  ＜ウォーキングパスポート＞ 身近な運動である「歩くこと」が好きな市民が増え、主体的・積極的な健康づくりが進められるよう、ウォーキングパスポートの活用促進を展開する。	市民ウォーキング団体 千葉県ウォーキング協会 我孫子市	・歩くことが好きな市民が増える  ・市民が運動を始めるきっかけとなる	○	○	○	○	○	△	実施状況					＜手賀沼ふれあいウォーク＞ 昨年度に引き続き、早朝から荒天のため参加者が少ない状況が続いている。天候に左右されやすい屋外のイベントであるため、今後の実施等に向けては我孫子市を含めた関係団体と検討をしていく。平成30年度については例年より周知の時期を早め、多くの参加を募る予定。  ＜ウォーキングパスポート＞ 平成29年度より内容を改訂し、配布方法も変更した結果、より多くの市民に配布することができた。今後は関係機関と連携し、内容の充実を図り、運動習慣のない市民の運動を始めるきっかけづくりのひとつとなるようさらに周知を強化する。	運動習慣のない市民がそれぞれのライフスタイルに合わせて取り組めるよう情報を整理し、関係機関と連携を図り、情報提供を行っていく。また、ウォーキングを気軽に取り組めるよう地域でのウォーキングイベントをウォーキング団体と連携し、開催に向けての準備を進めていく。	
											H25	H26	H27	H28	H29			
											1	1	1回	1回	1回			
											手賀沼ふれあいウォーク実施回数							
手賀沼ふれあいウォーク参加者数					773	842人	1,189人	207人	295人									
ウォーキングパスポート発行数					388冊	597冊	224冊	123冊	2,289冊									

所管課	事業名	事業概要 (対象者・内容等)	連携機関	期待する効果	ライフステージ						実績値 (実施回数・参加者数・参加率等)	平成29年度取り組みの成果、今後の課題と考察及び平成30年度の取り組みについて	平成31年度の方向性	委員の評価・アドバイス				
					乳幼児期	学童期	思春期	成年期	壮年期	高齢期								
保健所 地域保健課	啓発事業 (*)	<p>&lt;地域ウォーキング&gt; 柏市民健康づくり推進員が主催し、各地域で住民同士の仲間づくりとウォーキングをはじめのきっかけづくりを図る</p> <p>柏市民健康づくり推進員が主催するウォーキング以外の運動講座</p>	柏市民健康づくり推進員	<p>・市民が運動を始めるきっかけとなる</p> <p>・市民の運動時間が増える</p>							実施状況					<p>柏市の各地域における推進員の協力を得ることにより、一定の周知・啓発活動を展開することができた。</p> <p>平成30年度も、健康教育や啓発等を実施し、地域における健康づくりを推進する。</p>	引き続き、健康教育や啓発等を実施し、地域における健康づくりを推進する。	
											H25	H26	H27	H28	H29			
											地域ウォーキング実施回数							
											18	16回	12回	17回	12回			
											地域ウォーキング参加者数							
											274	235人	251人	374人	151人			
											地域健康講座実施回数							
						4	7回	10回	13回	31回								
						地域健康講座参加者数												
						98	257人	470人	557人	593人								
生涯学習部 スポーツ課	スポーツ推進委員活動 (*)	地域スポーツの推進役として、日ごろスポーツをしない人への動機づけなどを行い、スポーツ実施率の向上を図る。	柏市スポーツ推進委員協議会	参加者増加と、スポーツ実施率の向上							スポーツ推進委員活動参加者数					<p>推進委員の募集をホームページや広報を活用し、委員を増員及び活動の充実を図った。平成30年度は委員の増員について募集チラシ等を作成し、PRを強化していく。</p>	市民のスポーツ活動を更に推進していくため、委員の増員を図り、スポーツ推進委員の活動を更に充実させるよう支援していく。	
											H25	H26	H27	H28	H29			
											2,876人	2,528人	3,002人	2,986人	2,944人			

### 3. 休養・こころの健康

(1)睡眠等による十分な休養の確保																			
①睡眠による休養を十分にとれていない人の割合の減少																			
所管課	事業名	事業概要 (対象者・内容等)	連携機関	期待する効果	ライフステージ						実績値 (実施回数・参加者数・参加率等)	平成29年度取り組みの成果, 今後の課題と考 察及び平成30年度の取り組みについて	平成31年度の方向性	委員の評価・アドバイス					
					乳幼児期	学童期	思春期	成年期	壮年期	高齢期									
保健所 保健予 防課	こころの病気の啓発・普及活動	<p>〈出前講座〉 こころの健康について講座形式で、正しい知識の普及啓発を行う。</p> <p>〈市民講座〉 講演会により、精神疾患に関する正しい知識の普及啓発を行う。</p>	—	より多くの市民が、こころの健康や精神疾患に関する正しい知識を学ぶことができる。			○	○	○	○	出前講座参加者数					出前講座は申し込み件数も増加し、大きな団体からの申し込みがあったこともあり、参加人数も増加した。地域団体や業務に関連のある団体からの申し込みが多い現状であるが、職域への働きかけも進めていく。市民講座は、広く一般に精神保健を知っていたく機会となるため、より周知に努めていきたい。	継続		
											H25	H26	H27	H28	H29				
											延228人	延224人	延365人	延232人	延629人				
											市民講座参加者数								
											—	53人	77人	74人	87人				
(2)上手なストレス解消																			
②ストレスを感じた人の割合の減少																			
所管課	事業名	事業概要 (対象者・内容等)	連携機関	期待する効果	ライフステージ						実績値 (実施回数・参加者数・参加率等)	平成29年度取り組みの成果, 今後の課題と考 察及び平成30年度の取り組みについて	平成31年度の方向性	委員の評価・アドバイス					
					乳幼児期	学童期	思春期	成年期	壮年期	高齢期									
保健福 祉部 福祉政 策課 地域包 括支援 課	柏フレイル予 防プロジェク ト2025 (* )	「フレイル(虚弱)」という概念を新たに取り入れ、市民、関係団体、学識経験者、市による「推進委員会」を設置・運営しながら、健康づくり事業の効果的な運動と地域を基盤とした市民主体の活動を推進	医師会、歯科医師会、薬剤師会、東京大学、ふるさと協議会、社会福祉協議会、民生委員児童委員、柏市民健康づくり推進員、スポーツ推進委員、東葛北部栄養士会、リハビリテーション連絡会、地域包括支援センターなど	市民の意識・行動変容(栄養、身体活動、社会参加の促進)				○	○	○		推進委員会実施回数					フレイル予防に係る事業や活動については、見える化するなど共有を図ることは出来たが、関係者全体が連動する動きには至らず課題となった。平成30年度は、地域としての評価に着手する「フレイルチェックの充実と地域活動との連動」と市域全体で広く認識してもらう「フレイル予防の効果的な啓発活動」を特に強調して取り組むべき事項として実施する。 【H30具体的活動】 フレイルチェック:地域サロン、居場所等でのフレイルチェック、講座を地域包括支援センターを軸に市内全域で展開。 効果的な啓発活動:周知・広報の予算(200万円)を活用して横断幕、フラッグの掲示やコンテンツ作りを実施(福祉政策課、地域包括支援課、健康増進課、企画調整課がコアメンバー)及び健康づくり庁内連絡会議を利用し、前述の啓発活動の共有及び活動の仕掛け、実装に向けた支援に取り組む。	フレイル予防の普及・啓発と効果的な促進、地域における市民主体の活動の促進、フレイル予防に係る関係機関の連携・連動を推進し進めフレイル予防によるまちづくりの実現を目指していく。	
												H25	H26	H27	H28	H29			
												—	—	1回	3回	3回			

所管課	事業名	事業概要 (対象者・内容等)	連携機関	期待する効果	ライフステージ						実績値 (実施回数・参加者数・参加率等)	平成29年度取り組みの成果、今後の課題と考 察及び平成30年度の取り組みについて	平成31年度の方向性	委員の評価・アドバイス																				
					乳幼児期	学童期	思春期	成年期	壮年期	高齢期																								
保健所 保健予 防課	こころの病気の啓発・普及活動 (*)	<p>&lt;出前講座&gt; こころの健康について講座形式で、正しい知識の普及啓発を行う。</p> <p>&lt;市民講座&gt; 講演会により、精神疾患に関する正しい知識の普及啓発を行う。</p>	—	より多くの市民が、こころの健康や精神疾患に関する正しい知識を学ぶことができる。							<p>出前講座参加者数</p> <table border="1"> <tr> <td>H25</td><td>H26</td><td>H27</td><td>H28</td><td>H29</td> </tr> <tr> <td>延228人</td><td>延224人</td><td>延365人</td><td>延232人</td><td>延629人</td> </tr> </table> <p>市民講座参加者数</p> <table border="1"> <tr> <td>—</td><td>53人</td><td>77人</td><td>74人</td><td>87人</td> </tr> </table>	H25	H26	H27	H28	H29	延228人	延224人	延365人	延232人	延629人	—	53人	77人	74人	87人	<p>出前講座は申し込み件数も増加し、大きな団体からの申し込みがあったこともあり、参加人数も増加した。地域団体や業務に関連のある団体からの申し込みが多い現状であるが、職域への働きかけも進めていく。市民講座は、広く一般に精神保健を知っていただく機会となるため、より周知に努めていきたい。</p>	継続						
					H25	H26	H27	H28	H29																									
延228人	延224人	延365人	延232人	延629人																														
—	53人	77人	74人	87人																														
保健所 保健予 防課	本人・家族の相談・訪問支援等	<p>&lt;こころの健康相談&gt; 精神科嘱託医や職員によるこころの健康に関する相談。</p>	—	精神的な問題を抱えた本人や家族を支援し、生活の質の向上を目指す。							<p>精神科医による相談数(回数)</p> <table border="1"> <tr> <td>H25</td><td>H26</td><td>H27</td><td>H28</td><td>H29</td> </tr> <tr> <td>65件</td><td>48件</td><td>46件</td><td>54件</td><td>55件</td> </tr> </table> <p>職員による面談や訪問(延数)</p> <table border="1"> <tr> <td>1,694件</td><td>1,288件</td><td>1,357件</td><td>1,636件</td><td>1,800件</td> </tr> </table> <p>電話相談</p> <table border="1"> <tr> <td>6,797件</td><td>7,248件</td><td>6,660件</td><td>7,570件</td><td>8,235件</td> </tr> </table>	H25	H26	H27	H28	H29	65件	48件	46件	54件	55件	1,694件	1,288件	1,357件	1,636件	1,800件	6,797件	7,248件	6,660件	7,570件	8,235件	<p>精神科嘱託医や職員によるこころの健康相談を実施し、関係機関や連携を図りながら本人や家族の支援を行った。相談件数が増加しており、安全で迅速な対応ができるよう関係機関等との調整を図り、体制づくりを行っていく。</p>	継続	
					H25	H26	H27	H28	H29																									
65件	48件	46件	54件	55件																														
1,694件	1,288件	1,357件	1,636件	1,800件																														
6,797件	7,248件	6,660件	7,570件	8,235件																														
こども部 子育て 支援課  生涯学 習部 図書館  保健所 地域保 健課	ブックスタート事業	<p>市民ボランティアが1歳6か月健診の受診親子に対し、親子の優しいことばかけやふれあいが子どもの心の成長や言葉の発達に大切であり、絵本を介することによりそういった時間や機会が持ちやすくなること伝える。親子で絵本を開く楽しい体験をしていただき、絵本をお渡ししている。</p>	柏市ふれあいブックスタートの会	<p>・絵本を通じ、親子のふれあいや保護者の心安らぐ時間をつくり、子どもの豊かな心を育む</p> <p>・ことばかけやふれあいにより、愛される経験、守られている経験を積み重ねることが愛着形成につながり、乳幼児の健全な成長を図る。</p>							<p>受取者数</p> <table border="1"> <tr> <td>H25</td><td>H26</td><td>H27</td><td>H28</td><td>H29</td> </tr> <tr> <td>3,203人</td><td>3,354人</td><td>3,120人</td><td>3,407人</td><td>3,391人</td> </tr> </table>	H25	H26	H27	H28	H29	3,203人	3,354人	3,120人	3,407人	3,391人	<p>平成29年度は、延べ543人のボランティアが参加し、ブックスタート事業を実施(ほぼ全ての受診者が絵本を受け取った)。</p> <p>平成29年11月9日に受取者数5万組達成し、平成30年2月3日にアミュゼ柏で開催の「はぐはぐ柏☆子育て応援フォーラム」の中で、ブックスタート5万組達成記念式典を行い、ボランティアへ感謝状を贈呈した。</p> <p>今後も、事業を継続しながら、関係課及び連携機関で事業のあり方を協議検討していく。</p>	平成30年度の協議検討結果に基づき、平成31年度の方向性を決定する。											
					H25	H26	H27	H28	H29																									
3,203人	3,354人	3,120人	3,407人	3,391人																														
こども部 子育て 支援課  こども部 保育運 営課	地域子育て支援拠点事業	<p>乳幼児及びその保護者が相互の交流を行う場所を開設し、子育てについての相談、情報の提供、助言その他の援助を行う事業(児童福祉法第6条の3第6項に規定される事業)</p>		子育て中の親子の孤立や子育てに対する不安の減少。							<p>地域子育て支援拠点事業 延利用者数</p> <table border="1"> <tr> <td>H25</td><td>H26</td><td>H27</td><td>H28</td><td>H29</td> </tr> <tr> <td>115,200人</td><td>117,382人</td><td>117,956人</td><td>119,872人</td><td>116,807人</td> </tr> </table>	H25	H26	H27	H28	H29	115,200人	117,382人	117,956人	119,872人	116,807人	<p>平成29年11月に単独型の2か所目の拠点となる「はぐはぐひろば若柴」を柏市青少年センター内に開設した。開所5ヶ月間で約6,000人の親子に利用いただいております。大変盛況である。平成30年度は、単独型3か所目の新規開設に向けて開設候補地の検討を進めていく。</p>	子ども、子育て支援事業計画の策定に伴い、平成32年度以降の事業の予定を定める。											
					H25	H26	H27	H28	H29																									
115,200人	117,382人	117,956人	119,872人	116,807人																														

所管課	事業名	事業概要 (対象者・内容等)	連携機関	期待する効果	ライフステージ						実績値 (実施回数・参加者数・参加率等)	平成29年度取り組みの成果、今後の課題と考 察及び平成30年度の取り組みについて	平成31年度の方向性	委員の評価・アドバイス			
					乳幼児期	学童期	思春期	成年期	壮年期	高齢期							
生涯学 習部 中央公 民館	高齢者教育 事業 かたくり学級	高齢者に積極的に学習 の場に参加してもらうた め、多分野にわたり新鮮 な情報を提供し、健康で 明るい暮らしや生きがい 探しを支援する。	—	・生きがいづくり や仲間づくり  ・健康維持・増進 を図り、健康で 楽しい日々を過 ごせる							○	講座実施状況 H25 H26 H27 H28 H29 実施回数 5回 5回 5回 13回 11回 参加者数 211人 157人 159人 364人 226人	講義と体験を組み合わせ実施した。 引きこもりがちな高齢者の生活を、講 座に出向くことで様々なことに関心を 持ってもらい、生きがい探しの支援を 目的とした講座である。30年度も引き 続き実施していく。	中央公民館の休館を 予定しているため、実 施については未確定 である。			
生涯学 習部 中央公 民館	家庭教育事 業 家庭教育講 演会	子育て支援を目的とした 「柏市私立幼稚園協会」と の連携事業。直面する課 題をテーマに講演会を実 施。子ども・家族・自分自 身を見つめ直し、新たな 一歩を踏み出すきっかけ づくりを目指す。	柏市私立 幼稚園協会	子育て中の親子 の孤立や子育て に対する不安の 解消							○	講座実施状況 H25 H26 H27 H28 H29 実施回数 1回 1回 1回 1回 1回 参加者数 381人 262人 385人 234人 200人	「プログラミング教育」をテーマに講演 会を実施した。子育て支援として、子 どもの発達段階に応じたかかわり方 についての学習は極めて重要である ことから、30年度も継続して実施して いく。	継続実施予定			
生涯学 習部 中央公 民館	地域づくり事 業 現代課題講 座	地域社会が抱える様々な 問題を専門的な視点から 掘り下げ関心を高め、人 材育成を図り、地域課題 の解決へとつなぐことを めざす。	—	地域の不安の解 消							○	○	○	講座実施状況 H25 H26 H27 H28 H29 実施回数 — — 1回 1回 3回 参加者数 — — 77 69人 91人	3か所の近隣センターを会場に、地縁 組織や近隣センターと連携して地域課 題を取り上げ講座を実施した。 平成30年度も、地域課題解決に資す るよう、引き続き取り組んでいく。	近隣センターを会場 に、関係部署や地縁 組織等と連携しながら 実施していく。	
～H27 生涯学 習部 沼南公 民館  H28～ 中央公 民館	高齢者教育 事業 いきいきセミ ナー	高齢者が健康でより充実 した豊かな人生を送るた め、地域の方々と交流を深 め、互いに学ぶことにより、 良好な人間関係を築き社 会的能力を高め、めまぐる しく移り変わる社会に順 応できる能力を養う。	—	講座で学んだこ とを、生活の中 で取り入れても らい、健康で長 生きをする。							○	講座実施状況 H25 H26 H27 H28 H29 実施回数 5回 7回 8回 8回 8回 参加者数 171人 211人 306人 280人 228人	「共に学び、共に暮らすことを学ぶ」を テーマに、次世代育成への取り組みを 学んだ。30年度も継続して実施してい く。	中央公民館の休館を 予定しているため、実 施については未確定 である。			

(3)自殺予防対策																		
③自殺者数の減少																		
所管課	事業名	事業概要 (対象者・内容等)	連携機関	期待する効果	ライフステージ						実績値 (実施回数・参加者数・参加率等)	平成29年度取り組みの成果、今後の課題と考 察及び平成30年度の取り組みについて	平成31年度の方向性	委員の評価・アドバイス				
					乳幼児期	学童期	思春期	成年期	壮年期	高齢期								
保健福祉部 社会福祉課	自殺予防対 策事業	自殺者の減少を目的として、各関係機関との情報共有の場である自殺予防対策連絡会議を開催	庁内関係部局、医師会、民生委員児童委員協議会、柏警察署、千葉大学、柏商工会議所、柏労働基準監督署、柏市社会福祉協議会等	自殺者の減少	○	○	○	○	○	○	自殺者数					自殺対策基本法の改正に伴い、市町村にも自殺対策計画の策定が義務付けられた。平成29年度は国から示されたガイドラインやデータをもとに自殺予防対策連絡会議を11月に開催。なお平成30年度は、自殺対策計画の議論を中心に、2回程度の開催を予定している。		
											H25	H26	H27	H28	H29			
											73人	73人	68人	57人	未確定			
											人口10万人対率							
						18.0	17.9	16.4	13.7	未確定								
保健福祉部 社会福祉課	千葉県地域自殺対策強化事業費補助金事業	普及啓発・相談事業・人材育成・遺族支援・こころの健康づくり・医療連携の各事業を柱として、一次予防(事前予防)・二次予防(危機対応)・三次予防(事後対応)の観点から対策を実施	庁内関係部局、医師会、民生委員児童委員協議会、柏警察署、千葉大学、柏商工会議所、柏労働基準監督署、柏市社会福祉協議会等	自殺者の減少	○	○	○	○	○	○	自殺者数					平成29年度は相談窓口案内の冊子作成・配付、無料相談事業、自殺予防ゲートキーパー養成研修、自死遺族支援事業を実施した。平成30年度は上記に加え、若年層向けの対策として映画上映会を開催し、一層の啓発に努める。	平成30年度に引き続き事業を実施していく。	
											H25	H26	H27	H28	H29			
											73人	73人	68人	57人	未確定			
											人口10万人対率							
						18.0	17.9	16.4	13.7	未確定								
保健所 保健予防課	本人・家族の相談・訪問支援等 (*)	〈こころの健康相談〉精神科嘱託医や職員によるこころの健康に関する相談。	—	精神的な問題を抱えた本人や家族を支援し、生活の質の向上を目指す。							精神科医による相談数(回数)					精神科嘱託医や職員によるこころの健康相談を実施し、関係機関や連携を図りながら本人や家族の支援を行った。相談件数が増加しており、安全で迅速な対応ができるよう関係機関等との調整を図り、体制づくりを行っていく。	継続	
											H25	H26	H27	H28	H29			
											65件	48件	46件	54件	55件			
											職員による面談や訪問(延数)							
						1,694件	1,288件	1,357件	1,636件	1,800件								
						電話相談												
						6,797件	7,248件	6,660件	7,570件	8,235件								
保健所 地域保健課	啓発事業 (*)	地域サロン等を中心とした健康教育や各イベントの中で運動、食、タバコ等健康に関する啓発および地域支援を実施。一般市民を対象とし、幅広いテーマについての啓発を行う。	庁内関係各課 柏市民健康づくり推進員 各種団体及び企業関係	幅広いライフステージの市民を対象にポピュレーションアプローチをすることで、健康に関する気づきの場を作る。							依頼の健康教育実施者数(全数)					地域サロンを中心とした依頼の健康教育が主となるが、日ごろの地域活動を生かし、多くの依頼があるよう周知・啓発を行う。依頼のテーマだけでなく、運動やタバコなど健康に関する内容を付加し実施していく。	引き続き、健康教育や啓発等を実施し、地域における健康づくりを推進する。	
											H25	H26	H27	H28	H29			
											-	-	-	2,298人	2,169人			

所管課	事業名	事業概要 (対象者・内容等)	連携機関	期待する効果	ライフステージ						実績値 (実施回数・参加者数・参加率等)	平成29年度取り組みの成果、今後の課題と考察及び平成30年度の取り組みについて	平成31年度の方向性	委員の評価・アドバイス				
					乳幼児期	学童期	思春期	成年期	壮年期	高齢期								
保健所 地域保健課	妊娠届出受理と母子健康手帳交付事業	妊娠届出受理時、専門職が面談をして、こころの健康チェックを実施。気分の落ち込みや不安の有無を確認し、早期に支援を開始する。	庁内関係各課 産科医療機関等	妊娠や出産への不安が高い方や、うつ病の疑いのある方に対し、早期発見・早期支援ができる。	○						母子健康手帳交付状況					面談率の向上をめざし、要支援者を的確に把握し、早期に継続支援へつなげる。	関係機関との連携を強化し、ケース会議の開催や研修を実施し、産後の育児不安を軽減することで虐待を予防していく。	
											H25	H26	H27	H28	H29			
											3,373人	3,551人	3,414人	3,315人	3,303人			
											母子健康手帳交付時の専門職の面談率							
											-	-	-	47.6%	73.0%			
H29.10月より、専門職による全数面接の体制を整えた																		
保健所 地域保健課	乳児家庭全戸訪問事業	市内の乳児がいる全家庭を訪問。生後3ヶ月までに保健師・助産師が新生児訪問を実施し、育児支援チェックリスト・産後うつの早期発見のスクリーニング指標(EPDS)・赤ちゃんへの気持ち質問票(ボンディング)を用いて、育児ストレスが高いと思われる方への訪問等の継続支援を実施。	庁内関係各課 医療機関等(産科、小児科、精神科等)	育児ストレスが高いと思われる方や、医療の必要な産後うつ病の疑いのある方に対し、早期発見・早期支援ができる。	○						乳児家庭全戸訪問事業実施者数					面談率の向上をめざし、要支援者を的確に把握し、早期に継続支援へつなげる。	関係機関との連携を強化し、ケース会議の開催や研修を実施し、産後の育児不安を軽減することで虐待を予防していく。	
											H25	H26	H27	H28	H29			
											2,224人	2,330人	2,609人	3,006人	2,169人			
											乳児家庭全戸訪問事業面談率							
											-	-	-	85.4%	95.7%			
H28年度より、妊産婦・新生児訪問とこんにちは赤ちゃん訪問を統合し、乳児家庭全戸訪問事業を開始した。※H25～27は新生児訪問として希望者のみに実施していた。																		
保健所 健康増進課	啓発事業(※)	イベント等の中で運動、食、タバコ等健康に関する啓発を実施。一般市民を対象とし、幅広いテーマについての啓発を行う。	庁内関係各課 各種団体及び企業関係	幅広いライフステージの市民を対象にポピュレーションアプローチをすることで、健康に関する気づきの場を作る。							啓発実施者数(全数)					H29年度は実施できず。H30年度は休養、心の健康を含めた内容の啓発を、関係部署と連携を図り実施する。	増進計画の目標達成に近づける内容の啓発を行っていく。	
											H25	H26	H27	H28	H29			
											-	6,109人	5,235人	4,869人	1,872人			
											※H28年度までは、柏市民健康づくり推進員の活動を含む							
											啓発実施者数(休養・こころの健康)							
-	500人	-	-	-														
※H28年度までは、柏市民健康づくり推進員の活動を含む																		
学校教育 部 児童生徒課	不登校児童生徒の支援事業	市内の小中学校で、何らかの要因による不登校状態の児童生徒を対象に行う支援事業。本人の自立を促すとともに、学校復帰を目指すため、学習支援や訪問活動を行っている。	-	不登校児童生徒の減少	○						適応指導教室学習相談室入室入級者数					学習相談室、適応指導教室の利用者数が微増している。不登校児童生徒を抱える保護者へ周知され、家庭以外で自立を促す場となっている。一方で、学校復帰につながるまでは難しく、不登校児童生徒の減少には課題が残る。	学校復帰だけを目的とするのではなく、不登校になった要因や背景に目を向けながら、児童生徒が学習する権利を損なうことのないよう、学校や関係機関との連携を図りながら支援を行っていく。	
											H25	H26	H27	H28	H29			
											-	-	70	63人	75人			
											教育相談件数(電話)							
											-	-	2,616件	2,944件	2,673件			
											教育相談件数(来室・訪問等)							
											-	-	790	881件	605件			
教育相談件数(家庭訪問)																		
-	-	987	781件	802件														





4. 喫煙

(1) 喫煙・受動喫煙が及ぼす健康影響に関する知識の普及																			
① 喫煙率の減少																			
② 喫煙・受動喫煙が及ぼす健康影響に関する認識をもつ成人の割合の増加																			
所管課	事業名	事業概要 (対象者・内容等)	連携機関	期待する効果	ライフステージ						実績値 (実施回数・参加者数・参加率等)	平成29年度取り組みの成果、今後の課題と考 察及び平成30年度の取り組みについて	平成31年度の方向性	委員の評価・アドバイス					
					乳幼児期	学童期	思春期	成年期	壮年期	高齢期									
保健所 健康増 進課	タバコ対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・柏ノースモッ子作戦協 議会会議</li> <li>・禁煙補助剤体験事業</li> <li>・柏ノースモッ子作戦出 張講座</li> <li>・乳幼児保護者向けリー フレット作成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・柏市医師会</li> <li>・柏歯科医師会</li> <li>・柏市薬剤師会</li> <li>・タバコ問題を考え る会・千葉</li> <li>・学校</li> <li>・PTA</li> <li>・私立幼稚園協会</li> <li>・柏商工会議所</li> <li>・主任児童委員</li> <li>・柏市民健康づくり 推進員</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・禁煙をする市 民が増える</li> <li>・喫煙する市民 が減る</li> <li>・学校の周りで 喫煙する大人 が減る</li> <li>・タバコの害や 受動喫煙につ いて正しい認識 を持つ大人の増 加</li> </ul>							<ul style="list-style-type: none"> <li>・H29年度の禁煙補助剤体験の利用者 数は大幅に減少。1ヵ月後の禁煙継続 を確認できる割合も少なかったため、 事業の見直しを図り、H29年度で禁煙 補助剤体験を終了とした。H30年度は、 喫煙者へ禁煙支援に関する効果的な 情報発信について検討し、実施してい く。</li> <li>・小中学校への出張講座を実施し、タ バコの害や受動喫煙についての理解 を深めた。30年度も引き続き実施し、 未実施の学校への啓発について検討 する。</li> <li>・乳幼児の保護者向けの啓発チラシを 1歳6ヶ月健診、3歳児健診にて配布。 H30年度は、健診のほか、妊娠届出 時、市内保育園(全年長児)、市内幼 稚園(全年長児)にも配布する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・禁煙支援情報(禁煙支 援薬局や禁煙外来等) の効果的な周知方法の 検討。</li> <li>・小中学校での出張講 座実施校の増加を図 る。</li> <li>・啓発リーフレットを継続 して配布。たばこの害や 受動喫煙について正し い知識を持てるよう効果 的な啓発を検討してい く。</li> </ul>							
					禁煙補助剤体験者数					H25	H26	H27	H28	H29	203	64人	115人	119人	44人
					出張講座実施校数					29	18校	16校	14校	11校					
保健所 地域保 健課	啓発事業 (* )	地域サロン等を中心とし た健康教育や各イベント の中で運動、食、タバコ等 健康に関する啓発およ び地域支援を実施。一般 市民を対象とし、幅広い テーマについての啓発を 行う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>庁内関係各課</li> <li>柏市民健康づくり 推進員</li> <li>各種団体及び企業 関係</li> </ul>	幅広いライフ ステージの市民を 対象にポピュ レーションア プローチをす ること、健康に 関する気づきの場 を作る。							依頼の健康教育実施者数(全数)								
					H25	H26	H27	H28	H29	-	-	-	2,298人	2,169人	地域サロンを中心とした依頼の健康 教育が主となるが、日ごろの地域活動 を生かし、多くの依頼があるよう周知・ 啓発を行う。 依頼のテーマだけでなく、運動やタバ コなど健康に関する内容を付加し実 施していく。				
保健所 健康増 進課	啓発事業 (※)	イベント等の中で運動、 食、タバコ等健康に関 する啓発を実施。一般市民 を対象とし、幅広いテ マについての啓発を行 う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>庁内関係各課</li> <li>各種団体及び企業 関係</li> </ul>	幅広いライフ ステージの市民を 対象にポピュ レーションア プローチをす ること、健康に 関する気づきの場 を作る。							啓発実施者数(全数)								
					H25	H26	H27	H28	H29	-	6,109人	5,235人	4,869人	1,872人	乳幼児の保護者や成人式を迎える人 を対象にリーフレットを作成し、各イ ベントで啓発を実施。また、受動喫煙 防止街頭キャンペーンも実施した。 H30年度も引き続きリーフレットの配 布等による啓発を行うとともに、受 動喫煙防止キャンペーンも実施して いく。				
											※H29年度～ 柏市民健康づくり推進員活動については別掲								
											啓発実施者数(喫煙)								
											-	1,681人	50人	900人	1,450人				
											※H29年度～ 柏市民健康づくり推進員活動については別掲								

(2) 受動喫煙の防止																			
③ 受動喫煙の機会を有する人の割合の減少																			
所管課	事業名	事業概要 (対象者・内容等)	連携機関	期待する効果	ライフステージ						実績値 (実施回数・参加者数・参加率等)					平成29年度取り組みの成果、今後の課題と考 察及び平成30年度の取り組みについて	平成31年度の方向性	委員の評価・アドバイス	
					乳幼児期	学童期	思春期	成年期	壮年期	高齢期	H25	H26	H27	H28	H29				
保健所 健康増 進課	タバコ対策 (※)	・柏ノースモツ子作戦協 議会会議 ・柏ノースモツ子作戦出 張講座 ・タバコ講演会 ・禁煙・分煙ありがとう店 登録店制度 ・乳幼児保護者向けリー フレットの作成、配布 ・「たばこの煙困りました カード」の設置	・柏市医師会 ・柏歯科医師会 ・柏市薬剤師会 ・タバコ問題を考え る会・千葉 ・柏商工会議所 ・環境サービス課 ・地域支援課	受動喫煙による 健康被害の減 少	○	○	○	○	○	○	禁煙分煙ありがとう店登録店					「禁煙分煙ありがとう店」の実態調査及 びHPにて店舗の周知を実施。 「たばこの煙困りましたカード」を作成 し、市役所内、市内産婦人科等に設 置。 H30年度も引き続き実施していく。	国の動向と合わせ、受 動喫煙による健康被害 の減少に向けた事業方 法の検討。		
											H25	H26	H27	H28	H29				
保健所 地域保 健課	啓発事業 (*)	地域サロン等を中心とし た健康教育や各イベント の中で運動、食、タバコ等 健康に関する啓発およ び地域支援を実施。一般 市民を対象とし、幅広い テーマについての啓発を 行う。	庁内関係各課 柏市民健康づくり 推進員 各種団体及び企業 関係	幅広いライフ ステージの市民を 対象にポピュ レーションア プローチをす ること、健康に 関する気づきの場を 作る。	○	○	○	○	○	○	依頼の健康教育実施者数(全数)					地域サロンを中心とした依頼の健康教 育が主となるが、日ごろの地域活動 を生かし、多くの依頼があるよう周知・啓 発を行う。 依頼のテーマだけでなく、運動やタバコ など健康に関する内容を付加し実施し ていく。	引き続き、健康教育や 啓発等を実施し、地域 における健康づくりを推 進する。		
											H25	H26	H27	H28	H29				
保健所 健康増 進課	啓発事業 (*)	イベント等の中で運動、 食、タバコ等健康に関す る啓発を実施。一般市民 を対象とし、幅広いテ マについての啓発を行 う。	庁内関係各課 各種団体及び企業 関係	幅広いライフ ステージの市民を 対象にポピュ レーションア プローチをす ること、健康に 関する気づきの場を 作る。	○	○	○	○	○	○	啓発実施者数(全数)					乳幼児の保護者や成人式を迎える人 を対象にリーフレットを作成し、各イ ベントで啓発を実施。また、受動喫煙防 止街頭キャンペーンも実施した。 H30年度も引き続きリーフレットの配布 等による啓発を行うとともに、受動喫煙 防止キャンペーンも実施していく。	増進計画の目標達成に 近づける内容の啓発を 行っていく。		
											H25	H26	H27	H28	H29				
環境部 環境 サービ ス課	ぼい捨て等 防止事業	啓発看板・路面シール・ 横断幕の設置等の啓発 を行い、路上喫煙等防止 を推進し、ぼい捨てごみ を減少させる。	—	ぼい捨てごみ、 路上喫煙・歩行 喫煙者の減少。				△	○	○	△	過料徴収件数					柏駅前における、小学生の声を聞いた 啓発アナウンスの内容を変更した。ま た、土地所有者の了解を得て、DayOne タワー周辺を禁煙等強化区域とした。 30年度は路上喫煙等防止各駅パト ロールの補助としてシルバーを雇用す る。	市内各駅周辺における ぼい捨てごみ減少とそ れに係る経費削減。 効果的な啓発及びパト ロールの継続。	
											H25	H26	H27	H28	H29				

(3) 禁煙の支援																		
④ 禁煙達成率																		
⑤ 成人の禁煙外来における保険適用に関する認知率																		
所管課	事業名	事業概要 (対象者・内容等)	連携機関	期待する効果	ライフステージ						実績値 (実施回数・参加者数・参加率等)					平成29年度取り組みの成果、今後の課題と考 察及び平成30年度の取り組みについて	平成31年度の方向性	委員の評価・アドバイス
					乳幼児期	学童期	思春期	成年期	壮年期	高齢期	H25	H26	H27	H28	H29			
保健所 健康増 進課	タバコ対策 (※)	・禁煙補助剤体験事業 ・禁煙外来をHPで公開	・柏市薬剤師会 ・柏市医師会	禁煙する市民 が増える				○	○	○	禁煙補助剤体験者数					<p>平成29年度取り組みの成果、今後の課題と考 察及び平成30年度の取り組みについて</p> <p>・H29年度の禁煙補助剤体験の利用者 数は大幅に減少。1ヵ月後の禁煙継続 を確認できる割合も少なかったため、 事業の見直しを図り、H29年度で禁煙 補助剤体験を終了とした。H30年度は、 喫煙者へ禁煙支援に関する効果的な 情報発信について検討し、実施してい く。</p> <p>・禁煙外来を年度も引き続きHPにて公 開。30年度も継続して実施。</p>	<p>平成31年度の方向性</p> <p>・禁煙支援情報(禁煙支 援薬局や禁煙外来等) の効果的な周知方法の 検討。</p>	
		<p>H25</p> <p>203</p>	<p>H26</p> <p>64人</p>	<p>H27</p> <p>115人</p>	<p>H28</p> <p>119人</p>	<p>H29</p> <p>44人</p>												
		・禁煙外来をHPで公開 ・柏市国保特定健診受 診者へ啓発	・柏市医師会 ・保険年金課	身近な医療機 関で保険による 禁煙指導が受 けられること を知ることが できる				○	○	○	市内禁煙外来実施医療機関数					<p>市内の禁煙外来実施医療機関をH29 年度も引き続きHPにて公開。H30年度 も継続して実施。</p> <p>・H30年度は禁煙支援機関マップを作 成予定。</p> <p>・柏市国保特定健診受診者に配布する 情報提供紙「かしわ健康づくり通信」に 市内禁煙外来一覧を掲載。30年度も 連携して禁煙支援情報の周知を図る。</p>	<p>平成31年度の方向性</p> <p>・禁煙支援情報(禁煙支 援薬局や禁煙外来等) の効果的な周知方法の 検討。</p>	
<p>H25</p> <p>25件</p>	<p>H26</p> <p>26件</p>	<p>H27</p> <p>33件</p>	<p>H28</p> <p>29件</p>	<p>H29</p> <p>29件</p>														

(4)未成年者の喫煙防止																				
⑥喫煙経験率																				
⑦喫煙願望率																				
⑧周囲で喫煙する大人の存在率																				
所管課	事業名	事業概要 (対象者・内容等)	連携機関	期待する効果	ライフステージ						実績値 (実施回数・参加者数・参加率等)					平成29年度取り組みの成果、今後の課題と考 察及び平成30年度の取り組みについて	平成31年度の方向性	委員の評価・アドバイス		
					乳幼児期	学童期	思春期	成年期	壮年期	高齢期	H25	H26	H27	H28	H29					
保健所 健康増 進課	タバコ対策 (※)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・柏ノースモッ子作戦出張講座実施</li> <li>・柏ノースモッ子新聞発行</li> <li>・小中学校タバコに関するアンケート</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小中学校</li> <li>・学校保健課</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小中学生の喫煙経験率が減る</li> <li>・小中学生の「タバコがかっこいいと思う」割合が減る</li> <li>・タバコの害について正しく知ることができる</li> </ul>			○	○					29	18校	16校	14校	11校	<ul style="list-style-type: none"> <li>・タバコの害や受動喫煙についての理解を深めるため、小中学校への出張講座を実施。30年度も引き続き実施し、未実施の学校への啓発について検討する。</li> <li>・小学4年生から中学3年生を対象に各学年に合わせた「柏ノースモッ子新聞」を発行。30年度は活用状況について確認し、新しいデータへ更新する。</li> <li>・アンケート結果より、喫煙願望のある子どもの周りの大人の8割近くが、喫煙の実態があることが分かった。30年度は子どもたちへの教育のみならず、周囲の大人へのアプローチを検討する。</li> </ul>	学校保健課等関係機関と連携し、小中学校での出張講座実施校の増加を図る。また、禁煙教育の実施状況を把握し、子どもたちが正しい選択ができるようなアプローチを継続する。	
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・柏ノースモッ子作戦出張講座実施</li> <li>・柏ノースモッ子新聞発行</li> <li>・小中学校タバコに関するアンケート</li> <li>・乳幼児保護者向けリーフレットの作成、配布</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小中学校</li> <li>・学校保健課</li> <li>・幼稚園協会</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・タバコの害について正しく知る大人が増える</li> <li>・禁煙する大人が増える</li> </ul>					○	○	○			29	18校	16校	14校	11校	<ul style="list-style-type: none"> <li>・タバコの害や受動喫煙についての理解を深めるため、小中学校への出張講座を実施。30年度も引き続き実施し、未実施の学校への啓発について検討する。</li> <li>・小学4年生から中学3年生を対象に各学年に合わせた「柏ノースモッ子新聞」を発行。30年度は、活用状況について確認し、新しいデータへ更新する。</li> <li>・アンケート結果より、喫煙願望のある子どもの周りの8割近くが喫煙の実態があることが分かった。30年度、子どもたちへの教育のみならず、周囲の環境整備も整えていく。</li> <li>・乳幼児の保護者向けの啓発チラシを1歳6ヶ月健診、3歳児健診にて配布。30年度は、健診のほか、妊娠届出時、市内保育園(全年長児)、市内幼稚園(全年長児)にも配布する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・啓発リーフレットを継続して配布。たばこの害や受動喫煙について正しい知識を持てるよう効果的な啓発を検討していく。</li> </ul>

所管課	事業名	事業概要 (対象者・内容等)	連携機関	期待する効果	ライフステージ						実績値 (実施回数・参加者数・参加率等)	平成29年度取り組みの成果、今後の課題と考 察及び平成30年度の取り組みについて	平成31年度の方向性	委員の評価・アドバイス				
					乳幼児期	学童期	思春期	成年期	壮年期	高齢期								
保健所 健康増 進課	啓発事業 (* )	イベント等の中で運動、 食、タバコ等健康に関する 啓発を実施。一般市民 を対象とし、幅広いテー マについての啓発を行 う。	庁内関係各課  各種団体及び企業 関係	幅広いライフス テージの市民を 対象にポピュ レーションア プローチをす ること、健康に 関する気づきの場 を作る。	○	○	○	○	○	○	啓発実施者数(全数)					乳幼児の保護者向け及び成人式を 迎える人を対象にリーフレットを 作成し、各イベントで啓発を 実施。また、受動喫煙防止 街頭キャンペーンも実施。 30年度も引き続きリーフレ ットによる啓発を行うととも に受動喫煙防止キャンペーン も実施していく。	増進計画の目標達成に 近づける内容の啓発を行 っていく。	
											H25	H26	H27	H28	H29			
											-	6,109人	5,235人	4,869人	1,872人			
					※H28年度までは、柏市民健康づくり推進員の活 動を含む													
											啓発実施者数(喫煙)							
											-	1,681人	50人	900人	1,450人			
※H28年度までは、柏市民健康づくり推進員の活 動を含む																		

5. 飲酒

(1) 過度の飲酒が及ぼす健康影響及び適度な飲酒に関する知識の普及																		
①「生活習慣病のリスクを高める飲酒量」の認識率の増加																		
所管課	事業名	事業概要 (対象者・内容等)	連携機関	期待する効果	ライフステージ						実績値 (実施回数・参加者数・参加率等)					平成29年度取り組みの成果、今後の課題と考察及び平成30年度の取り組みについて	平成31年度の方向性	委員の評価・アドバイス
					乳幼児期	学童期	思春期	成年期	壮年期	高齢期	H25	H26	H27	H28	H29			
保健所 地域保健課	啓発事業 (*)	地域サロン等を中心とした健康教育や各イベントの中で運動、食、タバコ等健康に関する啓発および地域支援を実施。一般市民を対象とし、幅広いテーマについての啓発を行う。	庁内関係各課 柏市民健康づくり推進員 各種団体及び企業関係	幅広いライフステージの市民を対象にポピュレーションアプローチをすることで、健康に関する気づきの場を作る。							依頼の健康教育実施者数(全数)					地域サロンを中心とした依頼の健康教育が主となるが、日ごろの地域活動を生かし、多くの依頼があるよう周知・啓発を行う。依頼のテーマだけでなく、運動やタバコなど健康に関する内容を付加し実施していく。	引き続き、健康教育や啓発等を実施し、地域における健康づくりを推進する。	
保健所 健康増進課	啓発事業 (※)	イベント等の中で運動、食、タバコ等健康に関する啓発を実施。一般市民を対象とし、幅広いテーマについての啓発を行う。	庁内関係各課 各種団体及び企業関係	幅広いライフステージの市民を対象にポピュレーションアプローチをすることで、健康に関する気づきの場を作る。							啓発実施者数(全数)					・スマートドリンク(上手にお酒を飲む人)に関するリーフレット等を配布。H30年度も引き続き啓発を実施していく。	増進計画の目標達成に近づける内容の啓発を行っていく。	
											啓発実施者数(飲酒)							

(2)健康被害のリスクを高める飲酒習慣の防止

②毎日飲酒・多量飲酒する人の割合の減少

③妊婦の飲酒率の減少

所管課	事業名	事業概要 (対象者・内容等)	連携機関	期待する効果	ライフステージ						実績値 (実施回数・参加者数・参加率等)	平成29年度取り組みの成果、今後の課題と考察及び平成30年度の取り組みについて	平成31年度の方向性	委員の評価・アドバイス																															
					乳幼児期	学童期	思春期	成年期	壮年期	高齢期																																			
保健所 保健予防課	本人・家族の相談・訪問支援等 (※)	<p>〈アルコール相談〉 精神科医師や職員によるアルコールに関する相談。</p> <p>〈アルコール家族教室〉 アルコール問題を抱える家族を対象に、講義やミーティングをとおして依存症の理解を図り、家族の健康度を高める。</p> <p>〈酒害教室〉 アルコール依存者や家族を対象に、ミーティングを通して、酒害や自助グループの効果を学び、アルコール依存からの回復を図る。</p> <p>〈HAPPYプログラム 個別・集団〉 アルコール減酒のためのプログラムを実施し、適正飲酒を目指す。</p>	柏断酒新生会	より多くの市民がアルコール依存症や関連問題について学習し、依存症や家族の回復を図ることができる。								<p>アルコール相談 精神科医による相談延数</p> <table border="1"> <tr> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> </tr> <tr> <td>10</td> <td>11</td> <td>11</td> <td>12件</td> <td>12件</td> </tr> </table> <p>アルコール相談 職員による面談や訪問延数</p> <table border="1"> <tr> <td>359</td> <td>106</td> <td>184</td> <td>228件</td> <td>191件</td> </tr> </table> <p>アルコール・デイケアクラブ 参加者延数</p> <table border="1"> <tr> <td>182</td> <td>118</td> <td>60</td> <td>77人</td> <td>—</td> </tr> </table> <p>アルコール家族教室 参加者延数</p> <table border="1"> <tr> <td>36</td> <td>71</td> <td>81</td> <td>79人</td> <td>110人</td> </tr> </table> <p>酒害教室参加者延数</p> <table border="1"> <tr> <td>289</td> <td>233</td> <td>246</td> <td>181人</td> <td>200人</td> </tr> </table>	H25	H26	H27	H28	H29	10	11	11	12件	12件	359	106	184	228件	191件	182	118	60	77人	—	36	71	81	79人	110人	289	233	246	181人	200人	<p>平成29年度取り組みの成果、今後の課題と考察及び平成30年度の取り組みについて</p> <p>アルコール関連の問題は本人だけでなく周囲への影響も大きく、早めの介入ができることが望ましい。減酒プログラム「K-HAPPYプログラム」を実施し、そのフォローアップも実施している。酒害についてや自助グループの効果等を広く伝え、必要な相談や教室等につながれるよう、周知に努めていく。アルコールデイケアクラブについては、HAPPYプログラムの開始に伴い、H28年度を持って終了とした。</p>	継続	
					H25	H26	H27	H28	H29																																				
					10	11	11	12件	12件																																				
					359	106	184	228件	191件																																				
					182	118	60	77人	—																																				
					36	71	81	79人	110人																																				
					289	233	246	181人	200人																																				

(3) 未成年者の飲酒防止

④ 未成年者の飲酒経験率の減少

所管課	事業名	事業概要 (対象者・内容等)	連携機関	期待する効果	ライフステージ						実績値 (実施回数・参加者数・参加率等)	平成29年度取り組みの成果, 今後の課題と考察及び平成30年度の取り組みについて	平成31年度の方向性	委員の評価・アドバイス							
					乳幼児期	学童期	思春期	成年期	壮年期	高齢期											
保健所 健康増進課	啓発事業 (* )	イベント等の中で運動, 食, タバコ等健康に関する啓発を実施。一般市民を対象とし, 幅広いテーマについての啓発を行う。	庁内関係各課 各種団体及び 企業関係	幅広いライフステージの市民を対象にポピュレーションアプローチをすることで, 健康に関する気づきの場を作る。							啓発実施者数(全数)					29年度, 未成年飲酒防止に関する啓発は実施できず。30年度は関係部署と連携を図り, 推進していく。	増進計画の目標達成に近づける内容の啓発を行っていく。				
											H25	H26	H27	H28	H29						
											-	6,109人	5,235人	4,869人	1,872人						
					※H28年度までは, 柏市民健康づくり推進員の活動を含む						啓発実施者数(飲酒)										
											-	-	580人	1,200人	800人	※H28年度までは, 柏市民健康づくり推進員の活動を含む					



6. 歯・口腔の健康

(1) 歯・口腔の健康づくりに関する知識の普及																							
① 3歳児でむし歯がない人の割合の増加																							
② 12歳児のDMF歯数の減少																							
③ 歯肉炎を有する(歯周疾患要観察者を含む)人の割合の減少																							
④ 40歳で喪失歯のない人の割合の増加																							
⑤ 進行した歯肉炎(CPI指数3以上)を有する人の割合の減少																							
⑥ 60歳代における咀嚼し良好者の割合の増加																							
所管課	事業名	事業概要 (対象者・内容等)	連携機関	期待する効果	ライフステージ						実績値 (実施回数・参加者数・参加率等)	平成29年度取り組みの成果、今後の課題と 考察及び平成30年度の取り組みについて	平成31年度の方向性	委員の評価・アドバイス									
					乳幼児期	学童期	思春期	成年期	壮年期	高齢期													
保健所 地域保 健課	子育て支援 事業(母と子 のつどい)	妊婦、1歳6月児くらいま での乳幼児と保護者を対 象に、市内20地域で実 施 歯・口腔に関するワンポ イント啓発、歯科相談	柏市民健康づ くり推進員	・甘味食品や飲 料を習慣化する 児の割合の減 少 ・歯みがき(仕上 みがき)の習慣 化 ・かかりつけ歯 科医を持っている 割合の増加	○						つどい参加者数(歯科の回のみ)					・口腔の健康づくりを家族ぐるみで取 り組むため、フッ化物応用やかかりつ け歯科医づくり等情報提供を行って いる。 ・8か月児相談事業においても、口腔 の健康づくりについて啓発を行う。 ・1歳6か月児健診問診票より、フッ化 物配合歯磨き剤の使用が55.8%と増 加傾向である。今後もより良い生活 習慣確立に向けた具体的な啓発を実 施する。	・マイナス1歳から歯・ 口腔の健康づくりを家 族全体で取り組める よう、正しい情報を市 民へ提供していくとと もに、柏市民健康づく り推進員を通じた情 報発信ができるよう、 部会研修等で情報提 供を行う。						
											H25	H26	H27	H28	H29				6,710人	6,189人	6,600人	5,762人	5,473人
保健所 地域保 健課	2歳の歯☆ ピカランド及 びフッ化物歯 面塗布事業	<歯☆ピカ> 2歳児の親子を対象に食 生活を含むむし歯予防 の啓発及び歯みがき指 導 <フッ化物> 2.6歳対象に医療機関に てフッ化物歯面塗布によ るむし歯予防事業(無料 受診券全対象者郵送)	柏歯科医師 会 柏市医師会	・フッ化物配合 歯みがき剤の利 用率の増加 ・かかりつけ歯 科医を持つ者の 増加 ・定期健診を受 ける者の増加	○						3歳児健診受診状況					・H29年度途中より受診しやすい環境 整備の一環として、周知時期を早め た。 ・歯☆ピカランド受診率44.8%で微 増、フッ化物歯面塗布事業受診率 46.0%で横ばいである。引き続き、受 診率増加につながるよう周知方法や 必要性の啓発を検討していく。 ・歯☆ピカランドにおけるフッ化物配 合歯みがき剤の使用率は84.4%と増 加傾向である。 ・3歳児健診における健歯者率の増 加が見られている。引き続きマイナス 1歳からの切れ目のない歯・口腔の 健康づくり支援を行っていく。	・各事業への参加を 促す啓発内容・方法 を検討し、受診率向 上につなげる。						
											H25	H26	H27	H28	H29				対象者数				
											3,791人	3,699人	3,566人	3,674人	3,535人				歯科受診者数				
											3,400人	3,292人	3,231人	3,313人	3,221人				健歯者率				
											82.7%	81.0%	80.5%	83.7%	85.4%								

所管課	事業名	事業概要 (対象者・内容等)	連携機関	期待する効果	ライフステージ						実績値 (実施回数・参加者数・参加率等)	平成29年度取り組みの成果、今後の課題と 考察及び平成30年度の取り組みについて	平成31年度の方向性	委員の評価・アドバイス																									
					乳幼児期	学童期	思春期	成年期	壮年期	高齢期																													
保健所 地域保健課	母子歯科保健事業「歯っぴいかむかむかしわっ子作戦！！」	<p>&lt;地域における依頼の健康教育&gt; 子育て支援センター、地域サロンにおいて、「育児講座」として地域の乳幼児をもつ保護者を対象にむし歯予防の啓発及び歯みがき指導 &lt;幼稚園・保育園等での歯みがき指導&gt; 保育園、幼稚園の園児を対象に食生活を含むむし歯予防の啓発及び歯みがき指導 依頼に応じて、保護者へもむし歯予防の啓発を実施</p>	<p>保育運営課 公立保育園 私立保育園 私立幼稚園 柏歯科医師会</p>	<p>・歯みがき(仕上げみがき)の習慣化 ・かかりつけ歯科医を持つ者の増加 ・定期健診を受ける者の増加</p>	○						<p>依頼の健康教育(母子)実施件数</p> <table border="1"> <tr><td>H25</td><td>H26</td><td>H27</td><td>H28</td><td>H29</td></tr> <tr><td>10件</td><td>8件</td><td>6件</td><td>9件</td><td>5件</td></tr> </table> <p>実施者数</p> <table border="1"> <tr><td>264人</td><td>193人</td><td>137人</td><td>260人</td><td>97人</td></tr> </table> <p>巡回歯みがき指導実施園数</p> <table border="1"> <tr><td>30園</td><td>39園</td><td>37園</td><td>40園</td><td>41園</td></tr> </table> <p>巡回歯みがき指導実施者数</p> <table border="1"> <tr><td>2,997人</td><td>3,056人</td><td>3,062人</td><td>2,822人</td><td>2,553人</td></tr> </table>	H25	H26	H27	H28	H29	10件	8件	6件	9件	5件	264人	193人	137人	260人	97人	30園	39園	37園	40園	41園	2,997人	3,056人	3,062人	2,822人	2,553人	<p>・幼稚園協会及び保育運営課を通じた周知を実施していることで、実施園数が増加している。各園においてむし歯予防を意識した昼食後の歯みがき習慣のきっかけづくりにもつながっている。 ・H29年度は「歯みがき指導実施マニュアル」を見直し、保育運営課主催看護師研修会において情報発信を行った。H30年度においても「歯みがき指導マニュアル」を基に園児の健康管理を行う園職員への啓発を行っていく。</p>	<p>・引き続き、依頼の健康教育を実施しつつ、指導者育成のための取り組みも行う。</p>	
		H25	H26	H27	H28	H29																																	
10件	8件	6件	9件	5件																																			
264人	193人	137人	260人	97人																																			
30園	39園	37園	40園	41園																																			
2,997人	3,056人	3,062人	2,822人	2,553人																																			
	<p>小学校、中学校の児童、生徒を対象に食生活を含むむし歯、歯周病予防の啓発及び歯みがき指導 依頼に応じて、保護者へもむし歯、歯周病予防の啓発を実施</p>	<p>学校保健課 小学校 中学校 柏歯科医師会</p>	<p>・給食後の歯みがき習慣の徹底 ・食後の歯みがき習慣の徹底 ・フッ化物配合歯みがき剤の利用率の増加 ・定期健診を受ける者の増加</p>	○						<p>実施校数(他学年の依頼校)</p> <table border="1"> <tr><td>H25</td><td>H26</td><td>H27</td><td>H28</td><td>H29</td></tr> <tr><td>30校</td><td>33校</td><td>31校</td><td>31校</td><td>31校</td></tr> </table> <p>他学年依頼の健康教育実施者数</p> <table border="1"> <tr><td>2,559人</td><td>2,916人</td><td>3,116人</td><td>2,619人</td><td>2,774人</td></tr> </table> <p>12歳児の健歯者率</p> <table border="1"> <tr><td>50.2%</td><td>51.4%</td><td>61.9%</td><td>59.4%</td><td>65.8%</td></tr> </table> <p>12歳児のDMF歯数</p> <table border="1"> <tr><td>1.28本</td><td>1.19本</td><td>0.84本</td><td>0.99本</td><td>0.71本</td></tr> </table>	H25	H26	H27	H28	H29	30校	33校	31校	31校	31校	2,559人	2,916人	3,116人	2,619人	2,774人	50.2%	51.4%	61.9%	59.4%	65.8%	1.28本	1.19本	0.84本	0.99本	0.71本	<p>・H29年度は関係機関(柏歯科医師会・学校保健課)と児童・生徒の歯・口腔の健康づくりを推進していく上で情報共有・交換を図る機会があった。また、市内全小学校の1年生に対するむし歯予防啓発を行うことで、学校・学校歯科医と連携しやすい環境が整っている。引き続き3者で連携を図りながら、支援を行っていく。</p>	<p>・学校、学校歯科医、児童、生徒、保護者に対し、保健所より適切な情報発信を行うことで、歯・口腔の健康づくりにつなげる。</p>		
H25	H26	H27	H28	H29																																			
30校	33校	31校	31校	31校																																			
2,559人	2,916人	3,116人	2,619人	2,774人																																			
50.2%	51.4%	61.9%	59.4%	65.8%																																			
1.28本	1.19本	0.84本	0.99本	0.71本																																			
保健所 地域保健課	啓発事業(※)	<p>イベント等の中で運動、食、タバコ等健康に関する啓発を実施。一般市民を対象とし、幅広いテーマについての啓発を行う。</p>	<p>庁内関係各課 柏市民健康づくり推進員 各種団体及び企業関係</p>	<p>幅広いライフステージの市民を対象にポピュレーションアプローチをすることで、健康に関する気づきの場を作る。</p>						<p>啓発実施者数(全数)</p> <table border="1"> <tr><td>H25</td><td>H26</td><td>H27</td><td>H28</td><td>H29</td></tr> <tr><td>-</td><td>6,109人</td><td>5,235人</td><td>4,869人</td><td>3,979人</td></tr> </table> <p>啓発実施者数(歯・口腔の健康)</p> <table border="1"> <tr><td>-</td><td>150人</td><td>1,801人</td><td>2,156人</td><td>952人</td></tr> </table>	H25	H26	H27	H28	H29	-	6,109人	5,235人	4,869人	3,979人	-	150人	1,801人	2,156人	952人	<p>歯や口腔に関するリーフレットを作成し、伝えたいことに的を絞って実施した。また、他課及び関係機関と連携をし、それぞれの場を生かした啓発を行った。 30年度も同様に行っていきたい。</p>	<p>同様に実施</p>												
H25	H26	H27	H28	H29																																			
-	6,109人	5,235人	4,869人	3,979人																																			
-	150人	1,801人	2,156人	952人																																			

所管課	事業名	事業概要 (対象者・内容等)	連携機関	期待する効果	ライフステージ						実績値 (実施回数・参加者数・参加率等)	平成29年度取り組みの成果、今後の課題と 考察及び平成30年度の取り組みについて	平成31年度の方向性	委員の評価・アドバイス					
					乳幼児期	学童期	思春期	成年期	壮年期	高齢期									
保健所 健康増進課	啓発事業 (※)	イベント等の中で運動、食、タバコ等健康に関する啓発を実施。一般市民を対象とし、幅広いテーマについての啓発を行う。	庁内関係各課 各種団体及び企業関係	幅広いライフステージの市民を対象にポピュレーションアプローチをすることで、健康に関する気づきの場を作る。							啓発実施者数(全数)					歯科検診推進や口腔ケア等に関するリーフレットを作成し、啓発を実施。30年度も引き続き実施予定。	増進計画の目標達成に近づける内容の啓発を行っていく。		
											H25	H26	H27	H28	H29				
											-	6,109人	5,235人	4,869人	1,872人				
											※H28年度までは、柏市民健康づくり推進員の活動を含む								
											啓発実施者数(歯・口腔の健康)								
											-	150人	1,801人	2,156人	350人				
											※H28年度までは、柏市民健康づくり推進員の活動を含む								
学校教育 部 学校保健課	健康診断事業	<p>&lt;定期歯科健診&gt; 学校医による、全校児童生徒のう歯・歯肉・歯列等の健診</p> <p>&lt;歯みがき指導&gt; 保健所歯科衛生士による全小学校1年生を対象とした歯みがき指導(学校保健課で日程・人数調整)</p>	学校歯科医 保健所	12歳児のDMF歯数の減少 歯肉炎を有する人の割合の減少							定期歯科健診状況					定期健康診断を各校で4~6月に実施。CO(要観察歯)、GO(歯周疾患要観察者)に関して、秋冬の継続健診を実施している学校もある(20/62校)。歯みがき指導に関しても各学校が積極的な取り組みを図っているところであり、小学1年生以外の学年も希望により保健所歯科衛生士による歯みがき指導を実施している(小学校:23/42校)(中学校:4/20校)。学校歯科医による歯みがき指導も小学校2校、中学校1校で実施している。	柏歯科医師会では、学校歯科医が研修会等を実施している(現在、学校歯科医マニュアル第3版まで改訂され、それに基づき、各校で検診が実施されている。(平成30年度、養護教諭向けのマニュアルも配布。)目標値達成に向け、保健所歯科衛生士、学校歯科医、養護教諭の連携強化の働きかけを図る。		
											H25	H26	H27	H28	H29				
											受診者数								
											3,270人	3,326人	3,273人	3,268人	3,244人				
											12歳児のDMF歯数								
											1.28本	1.19本	0.84本	0.99本	0.71本				
保健所 健康増進課	歯周病検診事業	対象者(満30, 40, 50, 60歳)に個人通知を行い、委託医療機関にて歯周ポケット測定等の歯周疾患検診を実施する。	柏歯科医師会	30・40歳における喪失歯のない人の割合増加 30・40歳の進行した歯肉炎を有する人の割合減少								喪失歯のない人の割合(30歳)					平成29年度より受診率の向上及び受診しやすい環境づくりの一環として受診期間を当初の2ヶ月から最長9ヶ月に変更したが、受診率向上には至らなかった。平成30年度は同様の課題に対して、対象者がより興味を湧くよう受診券の内容を一部変更した。	SNS等を活用し、事業周知の強化を図り、受診率向上を目指す。また、歯周病予防について働き世代、子育て世代を中心に関係機関と連携し啓発を図る。	
											H25	H26	H27	H28	H29				
											87.3%	85.6%	84.7%	88.9%	80.3%				
											喪失歯のない人の割合(40歳)								
											74.9%	73.3%	72.3%	75.2%	73.2%				
						進行した歯肉炎(CPI指数3以上)を有する人の割合(30歳)													
											45.3%	55.4%	54.0%	57.3%	52.9%				
						進行した歯肉炎(CPI指数3以上)を有する人の割合(40歳)													
											53.6%	58.0%	60.1%	62.9%	61.3%				

所管課	事業名	事業概要 (対象者・内容等)	連携機関	期待する効果	ライフステージ						実績値 (実施回数・参加者数・参加率等)					平成29年度取り組みの成果, 今後の課題と 考察及び平成30年度の取り組みについて	平成31年度の方向性	委員の評価・アドバイス	
					乳幼児期	学童期	思春期	成年期	壮年期	高齢期	H25	H26	H27	H28	H29				
保健福祉部 地域医療推進課	訪問口腔衛生指導事業 補助金	<ul style="list-style-type: none"> <li>・訪問口腔衛生指導の実施</li> <li>・医療機関(病院・歯科医院等)との連絡調整</li> <li>・一般市民への啓発事業</li> <li>・地域包括支援センター, 介護保険事業者等の従事者説明及び講演会の実施等への補助事業</li> </ul>	柏歯科医師会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・在宅療養者が治療及び口腔ケアを受けることにより, 口腔機能を維持し, 生活の質の向上を図る。</li> <li>・市民が, 在宅療養状態になっても, 安心して歯科治療を受けることができる環境整備。</li> </ul>								訪問口腔衛生指導(訪問口腔ケア)を実施した方の口腔機能向上					<p>多職種との連携会議への参加や研修会の開催により, 多職種からの相談が増加している。また, 口腔ケアの実施により, 誤嚥性肺炎の予防につながるケースも多く, 在宅療養者のQOLの向上に寄与している。引き続き, 多職種との連携強化への充実を支援し, 口腔ケアの実施数の増加を図る。</p>	関係部署, 関係機関と連携を図り, 引き続き取り組んでいく。	
											○	70%	80%	80%	80%	75%			

(2) 定期的な歯科健康診査の受診勧奨

⑦過去1年間に歯科健康診査を受診した人の割合(成人)の増加

所管課	事業名	事業概要 (対象者・内容等)	連携機関	期待する効果	ライフステージ						実績値 (実施回数・参加者数・参加率等)	平成29年度取り組みの成果, 今後の課題と 考察及び平成30年度の取り組みについて	平成31年度の方角性	委員の評価・アドバイス				
					乳幼児期	学童期	思春期	成年期	壮年期	高齢期								
保健福祉部 地域医療推進課	特殊歯科診療事業支援事業	一般的な診療が難しい障害児・者, 高齢者等に診療を行う特殊歯科診療所の運営に対し補助金を交付	柏市医療公社 柏歯科医師会	一般診療が難しい方本人及び家族の負担軽減。生活の質向上	○	○	○	○	○	○	患者数					障害者歯科保健・医療の取り組みの一環として, 障害福祉課・地域保健課・柏歯科医師会と連携を図り, 必要な方が適切な医療を受けられるような体制づくりを働きかける。	関係部署, 関係機関と連携を図り, 引き続き取り組んでいく。	
											H25	H26	H27	H28	H29			
											3,206人	3,241人	3,822人	4,194人	4,049人			
保健所健康増進課	歯周病検診事業(※)	対象者(満30, 40, 50, 60歳)に個人通知を行い, 委託医療機関にて歯周ポケット測定等の歯周疾患検診を実施する。	柏歯科医師会	過去1年間に歯科健康診査を受診した人の割合増加	△	△	○	○			過去1年間に歯科健康診査を受診した人の割合(成人)					平成29年度より受診率の向上及び受診しやすい環境づくりの一環として受診期間を当初の2ヶ月から最長9ヶ月に変更したが, 受診率向上には至らなかった。平成30年度は同様の課題に対して, 対象者がより興味を湧くよう受診券の内容を一部変更した。	SNS等を活用し, 事業周知の強化を図り, 受診率向上を目指す。また, 歯周病予防について働き世代, 子育て世代を中心に関係機関と連携し啓発を図る。	
											H25	H26	H27	H28	H29			
											全体							
											28.0%	24.4%	23.0%	29.3%	28.8%			
											30歳							
											21.5%	18.8%	23.3%	25.8%	28.3%			
											40歳							
											25.4%	23.7%	31.1%	31.1%	28.4%			
											50歳							
30.2%	19.6%	24.6%	28.1%	23.0%														
60歳																		
36.4%	35.2%	35.8%	31.8%	36.6%														

所管課	事業名	事業概要 (対象者・内容等)	連携機関	期待する効果	ライフステージ						実績値 (実施回数・参加者数・参加率等)					平成29年度取り組みの成果, 今後の課題と 考察及び平成30年度の取り組みについて	平成31年度の方向性	委員の評価・アドバイス
					乳幼児期	学童期	思春期	成年期	壮年期	高齢期								
保健所 健康増 進課	健康かむか む運動補助 金	柏歯科医師会が主催す る地域歯科保健医療啓 発の一環。 ・各種コンクール実施, 表彰 ・口腔がん検診 ・市民向け口腔啓発企画 等への補助事業	柏歯科医師 会 教育委員会	歯や口腔の健 康づくりに関心 を持ち, 主体的 に取り組む市民 が増える。	○	○	○	△	△	○	口腔衛生大会参加者数					より身近な地域での歯科医師による 啓発活動の一環として, 地域でのイ ベントや地域サークル等において, 歯 や口の健康づくりに関する啓発を 行った。平成30年度においても広く周 知し, より多くの市民とふれあい啓発 を図る予定。	各ライフステージに合 わせた歯や口の健康 づくりに関する情報提 供を行い, 地域ぐるみ 及び家族ぐるみでの 健口づくりを推進して いく。	
											H25	H26	H27	H28	H29			
保健所 健康増 進課	かしわ歯科 相談室	歯・口腔の健康に関して, 歯科医師・歯科衛生士が 個別の相談に応じ, 必要 な指導及び助言を行う。	柏歯科医師 会	歯・口腔の健康 に関する不安の 軽減	○	○	○	○	○	○	かしわ歯科相談室利用者数					8月, 12月,3月に実施している矯正歯 科相談専門日に来所者が増加してお り, 歯科医師の従事者数を増加して 対応した。 平成30年度についても歯科医師会と 連携を図り, 同様に対応していく予 定。	保健所の専門的な相 談機能のひとつとし て, 利用者のニーズ に応じた対応を歯科 医師会と情報交換及 び共有しながら進め ていく。	
											H25	H26	H27	H28	H29			

(3) 歯・口腔の健康づくりのための環境整備

⑧ 歯や口の状態に関する満足度(成人)

所管課	事業名	事業概要 (対象者・内容等)	連携機関	期待する効果	ライフステージ						実績値 (実施回数・参加者数・参加率等)	平成29年度取り組みの成果、今後の課題と 考察及び平成30年度の取り組みについて	平成31年度の方角性	委員の評価・アドバイス				
					乳幼児期	学童期	思春期	成年期	壮年期	高齢期								
保健所 健康増 進課	歯周病検診 事業 (※)	対象者(満30, 40, 50, 60 歳)に個人通知を行い、 委託医療機関にて歯周 ポケット測定等の歯周疾 患検診を実施する。	柏歯科医師 会	歯や口の状態 に満足している 人の割合増加							口腔内の満足度についてほぼ満足している人の割合					平成29年度より受診率の向上及び受 診しやすい環境づくりの一環として受 診期間を当初の2ヶ月から最長9ヶ月 に変更したが、受診率向上には至ら なかった。平成30年度は同様の課題 に対して、対象者がより興味が沸くよ う受診券の内容を一部変更した。	SNS等を活用し、事業 周知の強化を図り、 受診率向上を目指 す。また、歯周病予防 について働き世代、 子育て世代を中心に 関係機関と連携し啓 発を図る。	
											H25	H26	H27	H28	H29			
											全体							
											33.9%	32.0%	32.1%	33.8%	31.4%			
											30歳							
											38.7%	27.7%	32.3%	35.1%	27.8%			
											40歳							
											35.1%	34.5%	31.4%	32.7%	31.0%			
											50歳							
						28.3%	28.6%	31.0%	31.4%	32.2%								
						60歳												
						28.3%	35.2%	34.2%	36.3%	36.0%								
保健所 健康増 進課	かしわ歯科 相談室 (* )	歯・口腔の健康に関して、 歯科医師・歯科衛生士が 個別の相談に応じ、必要 な指導及び助言を行う。	柏歯科医師 会	歯・口腔の健康 に関する不安の 軽減							かしわ歯科相談室利用者数					8月, 12月, 3月に実施している矯正歯 科相談専門日に来所者が増加してお り、歯科医師の従事者数を増加して 対応した。 平成30年度についても歯科医師会と 連携を図り、同様に対応していく予 定。	保健所の専門的な相 談機能のひとつとし て、利用者のニーズ に応じた対応を歯科 医師会と情報交換及 び共有しながら進め ていく。	
											H25	H26	H27	H28	H29			
											91人	77人	78人	74人	119人			

所管課	事業名	事業概要 (対象者・内容等)	連携機関	期待する効果	ライフステージ						実績値 (実施回数・参加者数・参加率等)	平成29年度取り組みの成果、今後の課題と 考察及び平成30年度の取り組みについて	平成31年度の方向性	委員の評価・アドバイス			
					乳幼児期	学童期	思春期	成年期	壮年期	高齢期							
保健福祉部 福祉政策課	柏フレイル予防プロジェクト2025 (*)	「フレイル(虚弱)」という概念を新たに取り入れ、市民、関係団体、学識経験者、市による「推進委員会」を設置・運営しながら、健康づくり事業の効果的な連動と地域を基盤とした市民主体の活動を推進	医師会、歯科医師会、薬剤師会、東京大学、ふるさと協議会、社会福祉協議会、民生委員児童委員、柏市民健康づくり推進員、スポーツ推進委員、東葛北部栄養士会、リハビリテーション連絡会、地域包括支援センターなど	市民の意識・行動変容(栄養、身体活動、社会参加の促進)								推進委員会実施回数 H25 H26 H27 H28 H29 - - 1回 3回 3回	フレイル予防に係る事業や活動については、見える化するなど共有を図ることは出来たが、関係者全体が連動する動きには至らず課題となった。平成30年度は、地域としての評価に着手する「フレイルチェックの充実と地域活動との連動」と市域全体で広く認識してもらう「フレイル予防の効果的な啓発活動」を特に強調して取り組むべき事項として実施する。 【H30具体的活動】 フレイルチェック:地域サロン、居場所等でのフレイルチェック、講座を地域包括支援センターを軸に市内全域で展開。 効果的な啓発活動:周知・広報の予算(200万円)を活用して横断幕、フラッグの掲示やコンテンツ作りを実施(福祉政策課、地域包括支援課、健康増進課、企画調整課がコアメンバー)及び健康づくり庁内連絡会議を利用し、前述の啓発活動の共有及び活動の仕掛け、実装に向けた支援に取り組む。	フレイル予防の普及・啓発と効果的な促進、地域における市民主体の活動の促進、フレイル予防に係る関係機関の連携・連動を推し進めフレイル予防によるまちづくりの実現を目指していく。			
保健福祉部 地域包括支援課	フレイル予防事業 (※)	主に高齢者に対するフレイル(介護予防)事業のうち、口腔機能や嚥下をテーマとしたプログラムについて、歯科医師、歯科衛生士、言語聴覚士等が講座を行う。	柏歯科医師会、柏歯科介護センター、柏市在宅リハビリテーション連絡会、地域包括支援センターなど	市民の意識・行動変容(口腔機能の改善)								フレイル予防講座(口腔)の参加者数 H25 H26 H27 H28 H29 - - - 378人 249人	平成29年度は、フレイルチェックを起点とし、口腔講座も受講するよう啓発を行った。介護予防センターの在り方について検討中であったため、特に出前講座の周知啓発が不十分となり、利用者数は減少したが、平成30年度については増加する見込みである。	拡大の方針で、より多くの高齢者にフレイルチェックを受けた上で口腔講座を受けていただけるよう周知啓発を実施する。			
																フレイル予防出前講座 - - - 285人 248人	
																	地域包括支援センター主催の教室 - - - 208人 196人
市民生活部 保険年金課	お口のクリーニング事業	18歳以上の国保加入者と後期高齢者を対象に、保健事業利用券を活用した歯の付着物の除去、健康相談、衛生指導等	柏歯科医師会	歯・口腔の健康状態の改善、生活習慣病の予防								お口のクリーニング利用者数 H25 H26 H27 H28 H29 687人 845人 1,044人 1,190人 1,287人	前年度の特設健診の結果で、血糖値が受診勧奨値を超えてるものに対し、利用勧奨通知を実施。平成30年度は送付対象者を拡大して勧奨を実施する。	生活習慣病と歯・口腔関連の疾患の関連が高いこと等の知識の普及啓発等、事業の周知啓発や利用勧奨通知の発送等の充実強化に取り組み、お口のクリーニング事業の利用者の拡大を図る。			



7. 糖尿病

- (1)若い世代からの糖尿病の発症予防と重症化予防
- ①糖尿病の指摘を受けた人の割合の減少
  - ②メタボリックシンドローム[内臓脂肪症候群]の該当者及び予備群該当者の割合(40歳以上)の減少
  - ③ヘモグロビンA1cが6.1%(NGSP値6.5%)以上の人の割合の減少
  - ④じん臓機能障害による身体障害者手帳1級所持者数の減少
  - ⑤糖尿病医療費(国民健康保険 1月あたりの総点数)の減少

所管課	事業名	事業概要 (対象者・内容等)	連携機関	期待する効果	ライフステージ						実績値 (実施回数・参加者数・参加率等)	平成29年度取り組みの成果, 今後の課題と考察及び平成30年度の取り組みについて	平成31年度の方向性	委員の評価・アドバイス											
					乳幼児期	学童期	思春期	成年期	壮年期	高齢期															
市民生活部 保険年金課	柏市国民健康保険特定健康診査・特定保健指導	<p>&lt;特定健康診査&gt; 40歳以上の柏市国保加入者を対象に, 生活習慣病予防を目的とした健診を実施。</p> <p>&lt;特定保健指導&gt; 特定健診の結果よりメタボリックシンドロームのリスクのある対象者を抽出し, 6カ月間の生活習慣改善のための特定保健指導を実施。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・柏市医師会</li> <li>・ちば県民保健予防財団</li> <li>・人間ドック, 脳ドック実施医療機関</li> <li>・JA(ちば東葛, 東葛ふたば, いちかわ)</li> <li>・千葉県厚生農業共同組合連合会</li> <li>・沼南商工会</li> <li>・柏商工会議所</li> </ul>	生活習慣病の発症及び重症化の予防							特定健康診査受診率(法定報告)	<p>●受診結果が, 受診勧奨値等市が定めた基準に該当したものについては, 重症化予防対策として, 医療機関への受診勧奨を実施した。</p> <p>特にメタボリックシンドローム該当者及び予備群の割合は男性の60歳代以上で増加していることから, 通知や電話で特定保健指導の利用勧奨を実施した。特定保健指導の通知文や対象期間を検討することで, 特定保健指導実施率の向上につながった。</p> <p>●重症化予防の取り組みとして, 健診結果から早期にCKDのリスクの高い人を見つけ, かかりつけ医と腎専門医が連携して治療にあたることができるよう, 研修会の実施や「柏市国保特定健診等保健事業検討会」等, 柏市医師会や腎専門医等の協力により, 慢性腎臓病(CKD)対策推進のため, 医療連携システムの構築に取り組んできた。</p> <p>平成29年度から「柏市CKD医療連携システム」として, 腎専門基幹病院と連携し, 該当者がすみやかに腎専門医へ紹介することができるシステムの運用を開始した。</p> <p>●併せて, 国が示す「保険者努力支援制度」に基づき, 「糖尿病性腎症重症化予防プログラム」に沿った「糖尿病性腎症重症化予防事業」を健康・医療情報を活用し該当者を抽出し, 参加の承諾を得られた者に対してプログラムを事業者へ委託し実施した。</p> <p>●平成30年度も引き続き, 「第2期データヘルス計画」に基づき健康寿命の延伸と医療費適正化に資するよう, 生活習慣病予防対策を推進していく。そのために, 特定健診の受診率向上と特定保健指導の実施率向上のための取組と併せて, 重症化予防の取組の推進として, 「柏市CKD医療連携システム」および, 「糖尿病性腎症重症化予防事業」の取組を推進していく。</p>	「第2期データヘルス計画」や, 健診結果・レセプト情報等の健康・医療情報等に基づき, 医療機関や衛生部門等, 関係部署との連携により更に生活習慣病の発症, 重症化予防の取り組みを推進する。												
											H25				H26	H27	H28	H29							
																				40.0%	40.8%	42.0%	42.3%	11月1日以降確定	

所管課	事業名	事業概要 (対象者・内容等)	連携機関	期待する効果	ライフステージ						実績値 (実施回数・参加者数・参加率等)	平成29年度取り組みの成果、今後の課題と考察及び平成30年度の取り組みについて	平成31年度の方向性	委員の評価・アドバイス						
					乳幼児期	学童期	思春期	成年期	壮年期	高齢期										
市民生活部 保険年金課	国保 保健事業利用費助成事業 (18歳から39歳の健診)	18歳以上の柏市国保被保険者に対し、申請に基づき保健事業利用券を年間8枚交付(1枚1,000円相当)。18歳から39歳の健診事業、はり等施術事業、お口のクリーニング事業、運動事業に利用できる。18歳から39歳の健診事業は26年度からの新規事業。受診希望者に対し受診券を発行し、特定健診と同様の健診を実施する。	柏市医師会	被保険者の健康の保持増進 若い世代からの生活習慣病予防						○	18歳から39歳の健診実施状況					平成29年度は前年度と同様、35歳を対象に、郵送による受診勧奨を実施。 平成30年度は、健診受診の習慣化および疾病の早期発見・早期治療を目的に、「プレ特定健診」として通知発送の対象者を35歳から39歳までに拡大し、受診勧奨を実施予定。	若い頃からの生活習慣病対策として、「18歳から39歳までの健康診査」の周知に努め、受診者数の増加を図る。 また生活習慣病の予防、早期発見・早期治療、重症化の予防のため、健診結果で生活習慣病のリスクのある対象者に対し、保健指導及び医療機関の受診勧奨を実施する。			
											H25	H26	H27	H28	H29					
											受診券発行数									
											未実施	72人	83人	237人	218人					
											受診者数									
未実施	42	53	158人	138人																
保健所健康増進課	柏市健康診査 (無保険者)	40歳以上で、無保険の生活保護受給者を対象に、特定健診と同内容の健診を指定医療機関にて実施。 対象者に個別通知、希望者は申し込み。	柏市医師会	内臓脂肪症候群の予防、罹患している病状の安定や重症化予防への行動が取れるようにする。						○	○	受診者数					平成29年度より、へるすアップ通信の発行と生活支援課ケースワーカーより健康診査申込、受診勧奨の声掛けを実施、前年度より申込者、受診者ともに増加した。平成30年度も生活支援課との連携強化を図り、申込者、受診者の増加を目指す。	申込者、受診者の増加とともに、生活習慣の改善が必要と判定された者へフォローアップ強化を図る。		
												H25	H26	H27	H28	H29				
												145人	210人	224人	239人	278人				
保健所健康増進課	柏市地域栄養相談システム	生活習慣病等で治療中の市民が、かかりつけ医の紹介により、市内の病院で管理栄養士の栄養指導が受けられるシステム。かかりつけ医での治療及び適切な食事療法を継続し、生活習慣病の重症化予防を図る。	柏市医師会 病院栄養士協議会(柏地区)	内臓脂肪症候群の予防、罹患している病状の安定や重症化予防への行動が取れるようにする。						○	○	○	利用者数(延べ数)					平成28年度に診療報酬の改定があり、保険適用となる栄養食事指導の幅が広がった。相談の主訴は、糖尿病だけでなく、脂質異常症、高血圧等、生活習慣病であった。29年度は妊娠糖尿病の相談件数が増加しているのが特徴的であった。 30年度は、食事指導が必要な方がこのシステムにつながるよう、医療機関と市民に向けて周知をしていく。	食事指導が必要な方がこのシステムにつながるよう、周知方法、周知先等、検討していく。	
													H25	H26	H27	H28	H29			
													101人	109人	98人	225人	214人			

(2) 定期的な健康診査の受診

⑥ 柏市国民健康保険特定健康診査の受診率(法定報告)の増加

⑦ 柏市国民健康保険特定保健指導の実施率(法定報告)の増加

⑧ 糖尿病の指摘を受けたが、放置している人の割合の減少

所管課	事業名	事業概要 (対象者・内容等)	連携機関	期待する効果	ライフステージ						実績値 (実施回数・参加者数・参加率等)	平成29年度取り組みの成果、今後の課題と考察及び平成30年度の取り組みについて	平成31年度の方向性	委員の評価・アドバイス																																																																								
					乳幼児期	学童期	思春期	成年期	壮年期	高齢期																																																																												
市民生活部 保険年金課	柏市国民健康保険特定健康診査・特定保健指導 (*)	<p>&lt;特定健康診査&gt; 40歳以上の柏市国保加入者を対象に、生活習慣病予防を目的とした健診を実施。</p> <p>&lt;特定保健指導&gt; 特定健診の結果よりメタボリックシンドロームのリスクのある対象者を抽出し、6カ月間の生活習慣改善のための特定保健指導を実施。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・柏市医師会</li> <li>・ちば県民保健予防財団</li> <li>・人間ドック、脳ドック実施医療機関</li> <li>・JA(ちば東葛、東葛ふたば、いちかわ)</li> <li>・千葉県厚生農業共同組合連合会</li> <li>・沼南商工会</li> <li>・柏商工会議所</li> </ul>	生活習慣病の発症及び重症化の予防							<p>特定健康診査受診率(法定報告)</p> <table border="1"> <tr> <th></th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> </tr> <tr> <td></td> <td>40.0%</td> <td>40.8%</td> <td>42.0%</td> <td>42.3%</td> <td>11月1日以降確定</td> </tr> </table> <p>特定保健指導実施率(法定報告)</p> <table border="1"> <tr> <th></th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> </tr> <tr> <td></td> <td>18.9%</td> <td>15.0%</td> <td>20.1%</td> <td>21.4%</td> <td>同上</td> </tr> </table> <p>メタボリックシンドローム該当者の割合(法定報告)</p> <table border="1"> <tr> <th>性別</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> </tr> <tr> <td>男性</td> <td>23.6%</td> <td>24.2%</td> <td>25.4%</td> <td>26.1%</td> <td>同上</td> </tr> <tr> <td>女性</td> <td>7.2%</td> <td>7.3%</td> <td>7.6%</td> <td>7.8%</td> <td>同上</td> </tr> </table> <p>メタボリックシンドローム予備群の割合(法定報告)</p> <table border="1"> <tr> <th>性別</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> </tr> <tr> <td>男性</td> <td>17.4%</td> <td>17.3%</td> <td>17.3%</td> <td>17.4%</td> <td>同上</td> </tr> <tr> <td>女性</td> <td>5.8%</td> <td>6.2%</td> <td>6.0%</td> <td>6.1%</td> <td>同上</td> </tr> </table> <p>ヘモグロビンA1cが6.1%(NGSP値で6.5%以上の人の割合(年度報告))</p> <table border="1"> <tr> <th></th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> </tr> <tr> <td></td> <td>7.8%</td> <td>7.7%</td> <td>7.7%</td> <td>7.9%</td> <td>7.9%</td> </tr> </table>		H25	H26	H27	H28	H29		40.0%	40.8%	42.0%	42.3%	11月1日以降確定		H25	H26	H27	H28	H29		18.9%	15.0%	20.1%	21.4%	同上	性別	H25	H26	H27	H28	H29	男性	23.6%	24.2%	25.4%	26.1%	同上	女性	7.2%	7.3%	7.6%	7.8%	同上	性別	H25	H26	H27	H28	H29	男性	17.4%	17.3%	17.3%	17.4%	同上	女性	5.8%	6.2%	6.0%	6.1%	同上		H25	H26	H27	H28	H29		7.8%	7.7%	7.7%	7.9%	7.9%	<p>年代・性別を踏まえ、対象者の特性に応じた受診勧奨を実施し、受診率向上に取り組んだ。平成30年度も継続実施の予定。特定保健指導対象者への指導利用勧奨を積極的に行い、実施率が向上した。平成30年度も継続実施の予定。</p>	<p>「第2期データヘルス計画」や、健診結果・レセプト情報等の健康・医療情報等に基づき、医療機関や衛生部門等、関係部署との連携により更に生活習慣病の発症、重症化予防の取り組みを推進する。</p>	
						H25	H26	H27	H28	H29																																																																												
						40.0%	40.8%	42.0%	42.3%	11月1日以降確定																																																																												
						H25	H26	H27	H28	H29																																																																												
						18.9%	15.0%	20.1%	21.4%	同上																																																																												
					性別	H25	H26	H27	H28	H29																																																																												
					男性	23.6%	24.2%	25.4%	26.1%	同上																																																																												
					女性	7.2%	7.3%	7.6%	7.8%	同上																																																																												
					性別	H25	H26	H27	H28	H29																																																																												
					男性	17.4%	17.3%	17.3%	17.4%	同上																																																																												
女性	5.8%	6.2%	6.0%	6.1%	同上																																																																																	
	H25	H26	H27	H28	H29																																																																																	
	7.8%	7.7%	7.7%	7.9%	7.9%																																																																																	
市民生活部 保険年金課	国保 保健事業利用費助成事業(18歳から39歳の健診) (*)	<p>18歳以上の柏市国保被保険者に対し、申請に基づき保健事業利用券を年間8枚交付(1枚1,000円相当)。18歳から39歳の健診事業、はり等施術事業、お口のクリーニング事業、運動事業に利用できる。18歳から39歳の健診事業は26年度からの新規事業。受診希望者に対し受診券を発行し、特定健診と同様の健診を実施する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・柏市医師会</li> </ul>	被保険者の健康の保持増進 若い世代からの生活習慣病予防							<p>18歳から39歳の健診実施状況</p> <table border="1"> <tr> <th></th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> </tr> <tr> <td>受診券発行数</td> <td>未実施</td> <td>72人</td> <td>83人</td> <td>237人</td> <td>218人</td> </tr> <tr> <td>受診者数</td> <td>未実施</td> <td>42</td> <td>53</td> <td>158人</td> <td>138人</td> </tr> </table>		H25	H26	H27	H28	H29	受診券発行数	未実施	72人	83人	237人	218人	受診者数	未実施	42	53	158人	138人	<p>平成29年度は前年度と同様、郵送による受診勧奨を実施。平成30年度は、健診受診の習慣化および疾病の早期発見・早期治療を目的に、「プレ特定健診」として通知発送の対象者を35歳から39歳までに拡大し、受診勧奨を実施予定。</p>	<p>若い頃からの生活習慣病対策として、「18歳から39歳までの健康診査」の周知に努め、受診者数の増加を図る。また生活習慣病の予防、早期発見・早期治療、重症化の予防のため、健診結果で生活習慣病のリスクのある対象者に対し、保健指導及び医療機関の受診勧奨を実施する。</p>																																																							
						H25	H26	H27	H28	H29																																																																												
					受診券発行数	未実施	72人	83人	237人	218人																																																																												
					受診者数	未実施	42	53	158人	138人																																																																												

所管課	事業名	事業概要 (対象者・内容等)	連携機関	期待する効果	ライフステージ						実績値 (実施回数・参加者数・参加率等)					平成29年度取り組みの成果、今後の課題と考察及び平成30年度の取り組みについて	平成31年度の方向性	委員の評価・アドバイス	
					乳幼児期	学童期	思春期	成年期	壮年期	高齢期	受診者数								
												H25	H26	H27	H28	H29			
保健所健康増進課	柏市健康診査 (無保険者) (*)	40歳以上で、無保険の生活保護受給者を対象に、特定健診と同内容の健診を指定医療機関にて実施。対象者に個別通知、希望者は申し込み。	柏市医師会	内臓脂肪症候群の予防、罹患している病状の安定や重症化予防への行動が取れるようにする。						○	○	145人	210人	224人	239人	278人	平成29年度より、へるすアップ通信の発行と生活支援課ケースワーカーより健康診査申込、受診勧奨の声掛けを実施、前年度より申込者、受診者ともに増加した。平成30年度も生活支援課との連携強化を図り、申込者、受診者の増加を目指す。	申込者、受診者の増加とともに、生活習慣の改善が必要と判定された者へフォローアップ強化を図る。	

8. 循環器疾患

(1)若い世代からの循環器疾患の発症予防と重症化予防																									
①循環器疾患の指摘を受けた人の割合の減少																									
②循環器疾患による死亡者数の減少																									
③循環器疾患医療費(国民健康保険 1月あたりの総点数)の減少																									
④LDLコレステロールが140mg/dl以上の人の割合(40歳以上)の減少																									
⑤収縮期血圧が140mmHg以上の人の割合(40歳以上)の減少																									
⑥拡張期血圧が90mmHg以上の人の割合(40歳以上)の減少																									
⑦【再掲】メタボリックシンドローム[内臓脂肪症候群]の該当者及び予備群該当者の割合(40歳以上)の減少																									
所管課	事業名	事業概要 (対象者・内容等)	連携機関	期待する効果	ライフステージ						実績値 (実施回数・参加者数・参加率等)	平成29年度取り組みの成果、今後の課題と考察及び平成30年度の取り組みについて	平成31年度の方向性	委員の評価・アドバイス											
					乳幼児期	学童期	思春期	成年期	壮年期	高齢期															
市民生活部 保険年金課	柏市国民健康保険特定健康診査・特定保健指導(※)	<p>&lt;特定健康診査&gt; 40歳以上の柏市国保加入者を対象に、生活習慣病予防を目的とした健診を実施。</p> <p>&lt;特定保健指導&gt; 特定健診の結果よりメタボリックシンドロームのリスクのある対象者を抽出し、6ヵ月間の生活習慣改善のための特定保健指導を実施。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・柏市医師会</li> <li>・ちば県民保健予防財団</li> <li>・人間ドック、脳ドック実施医療機関</li> <li>・JA(ちば東葛、東葛ふたば、いちかわ)</li> <li>・千葉県厚生農業共同組合連合会</li> <li>・沼南商工会</li> <li>・柏商工会議所</li> </ul>	生活習慣病の発症及び重症化の予防							<p>特定健康診査受診率(法定報告)(再掲)</p> <table border="1"> <tr> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> </tr> <tr> <td>40.0%</td> <td>40.8%</td> <td>42.0%</td> <td>42.3%</td> <td>11月1日以降確定</td> </tr> </table>	H25	H26	H27	H28	H29	40.0%	40.8%	42.0%	42.3%	11月1日以降確定	<p>●受診結果が、受診勧奨値等市が定めた基準に該当したのについては、重症化予防対策として、医療機関への受診勧奨を実施した。</p> <p>●特定保健指導の予約が無い方に対し、電話や個別通知等による特定保健指導の利用勧奨を実施。特定保健指導の通知文や対象期間を検討することで、特定保健指導実施率は向上した。</p> <p>●「第2期データヘルス計画」策定時に実施した健診・医療情報の分析から、医療費全体のうち生活習慣病関連の疾患が23.7%を占めており、一人当たりの医療費は低いが、患者数の多い「糖尿病」や「高血圧症」の重症化予防の取組を推進するため、平成30年度は、平成29年度の健診結果より、「HbA1c」と「血圧」が保健指導値以上の方に対し、糖尿病専門医による健康講座を実施する。</p>	「第2期データヘルス計画」や、健診結果・レセプト情報等の健康・医療情報等に基づき、医療機関や衛生部門等、関係部署との連携により更に生活習慣病の発症、重症化予防の取り組みを推進する。		
					H25	H26	H27	H28	H29																
					40.0%	40.8%	42.0%	42.3%	11月1日以降確定																
										<p>特定保健指導実施率(法定報告)(再掲)</p> <table border="1"> <tr> <th>18.9%</th> <th>15.0%</th> <th>20.1%</th> <th>21.4%</th> <th>同上</th> </tr> </table>	18.9%	15.0%	20.1%	21.4%	同上										
					18.9%	15.0%	20.1%	21.4%	同上																
										<p>LDLコレステロールが140mg/dl以上の人の割合(40歳以上)(年度報告)</p> <table border="1"> <tr> <th>男性</th> <th>27.4%</th> <th>27.4%</th> <th>28.3%</th> <th>26.7%</th> <th>26.2%</th> </tr> <tr> <th>女性</th> <th>36.2%</th> <th>37.2%</th> <th>37.2%</th> <th>35.3%</th> <th>34.2%</th> </tr> </table>	男性	27.4%	27.4%	28.3%	26.7%	26.2%	女性	36.2%	37.2%	37.2%	35.3%				34.2%
					男性	27.4%	27.4%	28.3%	26.7%	26.2%															
					女性	36.2%	37.2%	37.2%	35.3%	34.2%															
										<p>収縮期血圧が140mmHg以上の人の割合(40歳以上)(年度報告)</p> <table border="1"> <tr> <th>男性</th> <th>26.8%</th> <th>27.1%</th> <th>27.0%</th> <th>27.7%</th> <th>26.6%</th> </tr> <tr> <th>女性</th> <th>21.7%</th> <th>21.7%</th> <th>22.6%</th> <th>22.8%</th> <th>21.4%</th> </tr> </table>	男性	26.8%	27.1%	27.0%	27.7%	26.6%	女性	21.7%	21.7%	22.6%	22.8%				21.4%
					男性	26.8%	27.1%	27.0%	27.7%	26.6%															
女性	21.7%	21.7%	22.6%	22.8%	21.4%																				
					<p>拡張期血圧が90mmHg以上の人の割合(40歳以上)(年度報告)</p> <table border="1"> <tr> <th>男性</th> <th>15.4%</th> <th>15.8%</th> <th>15.6%</th> <th>15.8%</th> <th>16.1%</th> </tr> <tr> <th>女性</th> <th>8.8%</th> <th>8.5%</th> <th>9.4%</th> <th>9.2%</th> <th>9.2%</th> </tr> </table>	男性	15.4%	15.8%	15.6%	15.8%	16.1%	女性	8.8%	8.5%	9.4%	9.2%	9.2%								
男性	15.4%	15.8%	15.6%	15.8%	16.1%																				
女性	8.8%	8.5%	9.4%	9.2%	9.2%																				

所管課	事業名	事業概要 (対象者・内容等)	連携機関	期待する効果	ライフステージ						実績値 (実施回数・参加者数・参加率等)	平成29年度取り組みの成果、今後の課題と考察及び平成30年度の取り組みについて	平成31年度の方針	委員の評価・アドバイス			
					乳幼児期	学童期	思春期	成年期	壮年期	高齢期							
市民生活部 保険年金課	国保 保健事業利用費助成事業 (18歳から39歳の健診) (* )	18歳以上の柏市国保被保険者に対し、申請に基づき保健事業利用券を年間8枚交付(1枚1,000円相当)。18歳から39歳の健診事業、はり等施術事業、お口のクリーニング事業、運動事業に利用できる。18歳から39歳の健診事業は26年度からの新規事業。受診希望者に対し受診券を発行し、特定健診と同様の健診を実施する。	・柏市医師会	被保険者の健康の保持増進 若い世代からの生活習慣病予防								18歳から39歳の健診実施状況	平成29年度は前年度と同様、郵送による受診勧奨を実施。 平成30年度は、健診受診の習慣化および疾病の早期発見・早期治療を目的に、「プレ特定健診」として通知発送の対象者を35歳から39歳までに拡大し、受診勧奨を実施予定。	若い頃からの生活習慣病対策として、「18歳から39歳までの健康診査」の周知に努め、受診者数の増加を図る。 また生活習慣病の予防、早期発見・早期治療、重症化の予防のため、健診結果で生活習慣病のリスクのある対象者に対し、保健指導及び医療機関の受診勧奨を実施する。			
											H25	H26				H27	H28
												未実施	72人	83人	237人	218人	受診者数
												未実施	42	53	158人	138人	
保健所 健康増進課	柏市健康診査 (無保険者) (* )	40歳以上で、無保険の生活保護受給者を対象に、特定健診と同内容の健診を指定医療機関にて実施。対象者に個別通知、希望者は申し込み。	柏市医師会	内臓脂肪症候群の予防、罹患している病状の安定や重症化予防への行動が取れるようにする。								受診者数	平成29年度より、へるすアップ通信の発行と生活支援課ケースワーカーより健康診査申込、受診勧奨の声掛けを実施、前年度より申込者、受診者ともに増加した。平成30年度も生活支援課との連携強化を図り、申込者、受診者の増加を目指す。	申込者、受診者の増加とともに、生活習慣の改善が必要と判定された者へフォローアップ強化を図る。			
											H25	H26				H27	H28
												145人	210人	224人	239人	278人	
保健所 健康増進課	柏市地域栄養相談システム (* )	生活習慣病等で治療中の市民が、かかりつけ医の紹介により、市内の病院で管理栄養士の栄養指導が受けられるシステム。かかりつけ医での治療及び適切な食事療法を継続し、生活習慣病の重症化予防を図る。	柏市医師会 病院栄養士協議会(柏地区)	内臓脂肪症候群の予防、罹患している病状の安定や重症化予防への行動が取れるようにする。								利用者数(延べ数)	平成28年度に診療報酬の改定があり、保険適用となる栄養食事指導の幅が広がった。相談の主訴は、糖尿病だけでなく、脂質異常症、高血圧等、生活習慣病であった。29年度は妊娠糖尿病の相談件数が増加しているのが特徴的であった。30年度は、食事指導が必要な方がこのシステムにつながるよう、医療機関と市民に向けて周知をしていく。	食事指導が必要な方がこのシステムにつながるように、周知方法、周知先等、検討していく。			
											H25	H26				H27	H28
												101人	109人	98人	225人	214人	

(2) 定期的な健康診査の受診

⑧【再掲】柏市国民健康保険特定健康診査の受診率(法定報告)の増加

⑨【再掲】柏市国民健康保険特定保健指導の実施率(法定報告)の増加

⑩循環器疾患の指摘を受けたが、放置している人の割合の減少

所管課	事業名	事業概要 (対象者・内容等)	連携機関	期待する効果	ライフステージ					実績値 (実施回数・参加者数・参加率等)	平成29年度取り組みの成果、今後の課題と考察及び平成30年度の取り組みについて	平成31年度の方向性	委員の評価・アドバイス				
					乳幼児期	学童期	思春期										
市民生活部 保険年金課	柏市国民健康保険特定健康診査・特定保健指導 (* )	<p>&lt;特定健康診査&gt; 40歳以上の柏市国保加入者を対象に、生活習慣病予防を目的とした健診を実施。</p> <p>&lt;特定保健指導&gt; 特定健診の結果よりメタボリックシンドロームのリスクのある対象者を抽出し、6ヵ月間の生活習慣改善のための特定保健指導を実施。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・柏市医師会</li> <li>・ちば県民保健予防財団</li> <li>・人間ドック、脳ドック実施医療機関</li> <li>・JA(ちば東葛, 東葛ふたば, いちかわ)</li> <li>・千葉県厚生農業共同組合連合会</li> <li>・沼南商工会</li> <li>・柏商工会議所</li> </ul>	生活習慣病の発症及び重症化の予防							特定健康診査受診率(法定報告)(再掲)	<p>●受診結果が、受診勧奨値等市が定めた基準に該当したもののについては、重症化予防対策として、医療機関への受診勧奨を実施した。</p> <p>●特定保健指導の予約が無い方に対し、電話や個別通知等による特定保健指導の利用勧奨を実施。特定保健指導の通知文や対象期間を検討することで、特定保健指導実施率は向上した。</p> <p>●「第2期データヘルス計画」策定時に実施した健診・医療情報の分析から、医療費全体のうち生活習慣病関連の疾患が23.7%を占めており、一人当たりの医療費は低いが、患者数の多い「糖尿病」や「高血圧症」の重症化予防の取組を推進するため、平成30年度は、平成29年度の健診結果より、「HbA1c」と「血圧」が保健指導値以上の方に対し、糖尿病専門医による健康講座を実施する。</p>	「第2期データヘルス計画」や、健診結果・レセプト情報等の健康・医療情報等に基づき、医療機関や衛生部門等、関係部署との連携により更に生活習慣病の発症、重症化予防の取り組みを推進する。				
										H25	H26				H27	H28	H29
										40.0%	40.8%				42.0%	42.3%	11月1日以降確定
										特定保健指導実施率(法定報告)(再掲)							
										18.9%	15.0%				20.1%	21.4%	同上
										LDLコレステロールが140mg/dl以上の人の割合(40歳以上)(年度報告)							
										男性 27.4%	27.4%				28.3%	26.7%	26.2%
										女性 36.2%	37.2%				37.2%	35.3%	34.2%
										収縮期血圧が140mmHg以上の人の割合(40歳以上)(年度報告)							
										男性 26.8%	27.1%				27.0%	27.7%	26.6%
					女性 21.7%	21.7%	22.6%	22.8%	21.4%								
					拡張期血圧が90mmHg以上の人の割合(40歳以上)(年度報告)												
					男性 15.4%	15.8%	15.6%	15.8%	16.1%								
					女性 8.8%	8.5%	9.4%	9.2%	9.2%								

所管課	事業名	事業概要 (対象者・内容等)	連携機関	期待する効果	ライフステージ						実績値 (実施回数・参加者数・参加率等)	平成29年度取り組みの成果、今後の課題と考察及び平成30年度の取り組みについて	平成31年度の方向性	委員の評価・アドバイス					
					乳幼児期	学童期	思春期	成年期	壮年期	高齢期									
市民生活部 保険年金課	国保 保健事業利用費助成事業 (18歳から39歳の健診) (*)	18歳以上の柏市国保被保険者に対し、申請に基づき保健事業利用券を年間8枚交付(1枚1,000円相当)。18歳から39歳の健診事業、はり等施術事業、お口のクリーニング事業、運動事業に利用できる。18歳から39歳の健診事業は26年度からの新規事業。受診希望者に対し受診券を発行し、特定健診と同様の健診を実施する。	・柏市医師会	被保険者の健康の保持増進 若い世代からの生活習慣病予防						○	18歳から39歳の健診実施状況					平成29年度は前年度と同様、郵送による受診勧奨を実施。 平成30年度は、健診受診の習慣化および疾病の早期発見・早期治療を目的に、「プレ特定健診」として通知発送の対象者を35歳から39歳までに拡大し、受診勧奨を実施予定。	若い頃からの生活習慣病対策として、「18歳から39歳までの健康診査」の周知に努め、受診者数の増加を図る。 また生活習慣病の予防、早期発見・早期治療、重症化の予防のため、健診結果で生活習慣病のリスクのある対象者に対し、保健指導及び医療機関の受診勧奨を実施する。		
											H25	H26	H27	H28	H29				
											受診券発行数								
											未実施	72人	83人	237人	218人				
受診者数					未実施	42	53	158人	138人										
保健所 健康増進課	柏市健康診査 (無保険者) (*)	40歳以上で、無保険の生活保護受給者を対象に、特定健診と同内容の健診を指定医療機関にて実施。 対象者に個別通知、希望者は申し込み。	柏市医師会	内臓脂肪症候群の予防、罹患している病状の安定や重症化予防への行動が取れるようにする。						○	○	受診者数					平成29年度より、へるすアップ通信の発行と生活支援課ケースワーカーより健康診査申込、受診勧奨の声掛けを実施、前年度より申込者、受診者ともに増加した。平成30年度も生活支援課との連携強化を図り、申込者、受診者の増加を目指す。	申込者、受診者の増加とともに、生活習慣の改善が必要と判定された者へフォローアップ強化を図る。	
												H25	H26	H27	H28	H29			
												145人	210人	224人	239人	278人			



9. がん

(1)がんの発症を防ぐための生活習慣等に関する知識の普及																							
①がんによる死亡者数の減少																							
所管課	事業名	事業概要 (対象者・内容等)	連携機関	期待する効果	ライフステージ						実績値 (実施回数・参加者数・参加率等)	平成29年度取り組みの成果、今後の課題と 考察及び平成30年度の取り組みについて	平成31年度の方向性	委員の評価 アドバイス									
					乳幼児期	学童期	思春期	成年期	壮年期	高齢期													
保健所 総務企画課	がん対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>がん対策検討会議(議員および庁内関係部署、がん診療連携拠点病院)の開催</li> <li>議会への事業報告</li> <li>保健衛生審議会への報告</li> </ul>	庁内関係部局 がん診療連携拠点病院 医師会など	「柏市がん対策基本条例」に基づき関係機関との連携のもと、がん対策を効果的かつ効率的に推進	○	○	○	○	○	○	がん対策検討会議実施状況					<ul style="list-style-type: none"> <li>がん対策検討会議は、全体会とテーマを絞った関係部署でのコア会議を含め4回実施し、情報共有と検討を行った。がん対策全体の中で『就労支援』が課題となっていることを取上げ、検討する経過の中で企業への周知及びアンケート調査を実施した。平成30年度も、引き続きテーマを絞って勉強会や検討会を実施していく。</li> <li>がんサポートハンドブックは状況に応じて毎年度改定を行い、充実した情報の提供を図っている。</li> </ul>	第3期がん対策推進基本計画を踏まえ、柏市全体としての取り組みを関係機関で共有し検討していく。全体会とコア会議を組合せ、課題への取り組みを進めていく。コアテーマにがん教育等を取上げるかは、今後の状況により検討する。						
											H25	H26	H27	H28	H29				4回	4回	3回	4回	4回
保健所 保健予防課 保健所 健康増進課	肝炎ウイルス検査	柏市民で、これまで肝炎ウイルス検査を受けたことがなく、他で検査を受ける機会のないかた、感染を心配するリスク行為があったかたを対象に検査を実施。	柏市医師会	肝炎ウイルス感染を早期に発見し、適切な検査・治療へつなぐことで、肝硬変や肝がんへの進行による重症化を防ぐ				○	○	○	○	肝炎ウイルス検査実施数					平成28年度に開始したフォローアップ事業は、平成29年度に利用率が倍増している。陽性者を確実に医療につなげるための事業であり、今後も拡充が必要。制度や手続きを分かりやすく説明し、専門医療機関を紹介し、受診への道すじを明確にしていく。	5歳刻みの個別通知は、平成30年度で一巡し、その後の周知方法について検討の必要がある。特定健診受診券に肝炎ウイルス検査についても記載し、未検査の者に勧奨を行う。					
												H25	H26	H27	H28	H29				1,182人	7,685人	7,333人	6,725人
保健所 健康増進課	新たなステージに入ったがん検診の総合支援事業	特定の年齢のかたに無料クーポン、検診手帳(啓発用)を送付し、該当するがん検診について、無料で受診することができる。対象となるがん検診は、乳、子宮頸がん検診(大腸はH27年度まで実施)。精密検査未受診者に対する受診勧奨通知及び特定の年齢に達する対象者への受診勧奨を行う。	柏市医師会 ちば県民保健予防財団 医療センター	がん検診を受けるきっかけとして、今まで受診したことがない人が受診することで、受診率向上に寄与する。				○	○		クーポン利用率					20歳の子宮頸がん、40歳の乳がんは、病気を自分の問題としてとらえにくい年齢ではあるが、無料クーポン券によるお試し体験で、検診のマイナスイメージを払拭してもらった意義は大きい。精検未受診者への受診再勧奨においては、「未受診者」と「未把握者」の定義を明確にして、現状を正確に把握するよう努めている。	芸能人などが発症すると、受診者数は増加する。乳がん検診については、それが顕著に表れている。子宮頸がん検診のクーポン利用率の低迷については検証が必要だが、今後も地道に受診を勧めていく。						
											H25	H26	H27	H28	H29				14.1%	9.6%	7.6%	廃止	—
											大腸がん								25.3%	9.5%	16.0%	12.0%	24.5%
											乳がん								18.1%	8.1%	11.3%	4.6%	2.9%
											子宮頸がん												

所管課	事業名	事業概要 (対象者・内容等)	連携機関	期待する効果	ライフステージ						実績値 (実施回数・参加者数・参加率等)					平成29年度取り組みの成果、今後の課題と 考察及び平成30年度の取り組みについて	平成31年度の方向性	委員の評価 アドバイス
					乳幼児期	学童期	思春期	成年期	壮年期	高齢期	新規登録者数(延人数)							
							H25	H26	H27	H28	H29							
保健所 健康増 進課	成人健診事 業(健康づく り普及・啓 発)	がん検診登録勧奨, がん 予防の啓発を目的に, 各 種媒体を利用, 特定の年 齢・転入者等には個別通 知。 モデル地域を設定し, 健 康講座の実施など重点的 に普及啓発活動を行って いる。	ふるさと協議 会 柏市医師会 庁内関係部 署 専門医療機 関	新規登録者数 の増加			△	○	○	○	29,077人	26,129人	27,493人	26,100人	28,873人	平成29年度は, がん予防をテーマに した市民公開講座を開催した。平成 30年度も地域イベント等に参加し, がん検診登録制度を説明するととも に, 胃内視鏡検査や大腸がん個別 検診の新規導入などの紹介を行う。	受診者が, 検診の目 的や方法, 保険診療 との違いを理解し, 自 分にあった検査を選 択するなど, 正しく検 診が受けられるよう啓 発を行っていく。	

- (2)がん検診の受診
- ②胃がん検診受診率の増加
  - ③大腸がん検診受診率の増加
  - ④子宮がん検診受診率の増加
  - ⑤乳がん検診受診率の増加
  - ⑥結核・肺がん検診受診率の増加

所管課	事業名	事業概要 (対象者・内容等)	連携機関	期待する効果	ライフステージ						実績値 (実施回数・参加者数・参加率等)	平成29年度取り組みの成果、今後の課題と 考察及び平成30年度の取り組みについて	平成31年度の方向性	委員の評価 アドバイス										
					乳幼児期	学童期	思春期	成年期	壮年期	高齢期														
保健所 地域保 健課	啓発事業 (※)	イベント等の中で運動、食、 タバコ等健康に関する啓 発を実施。一般市民を対 象とし、幅広いテーマにつ いての啓発を行う。	庁内関係各 課 柏市民健康づ くり推進員  各種団体及び 企業関係	幅広いライフ ステージの市民を 対象にポピュ レーションア プローチをす ること、健康に 関する気づきの場 を作る。	○	○	○	○	○	○	啓発実施者数(全数)					地域サロンを中心とした依頼の健康 教育が主となるが、日ごろの地域活 動を生かし、多くの依頼があるよう 周知・啓発を行う。 依頼のテーマだけでなく、運動やタ バコなど健康に関する内容を付加し 実施していく。	引き続き、健康教育 や啓発等を実施し、 地域における健康づ くりを推進する。							
											H25	H26	H27	H28	H29				-	-	-	2,298人	2,169人	
保健所 健康増 進課	啓発事業 (※)	イベント等の中で運動、食、 タバコ等健康に関する啓 発を実施。一般市民を対 象とし、幅広いテーマにつ いての啓発を行う。	庁内関係各 課 各種団体及び 企業関係	幅広いライフ ステージの市民を 対象にポピュ レーションア プローチをす ること、健康に 関する気づきの場 を作る。	○	○	○	○	○	○	啓発実施者数(全数)					乳幼児の保護者向け及び成人式を 迎える人を対象にタバコや受動喫煙 に関するリーフレットを作成し、各イ ベントで啓発を実施。また、受動喫 煙防止街頭キャンペーンも実施。 30年度も引き続きリーフレットや街 頭キャンペーンによる啓発を行い、 がん発症のリスク低減を目指す。	増進計画の目標達成 に近づける内容の啓 発を行っていく。							
											H25	H26	H27	H28	H29				-	6,109人	5,235人	4,869人	1,872人	
											※H28年度までは、柏市民健康づくり推進員の活動 を含む													
											啓発実施者数(がん)								-	924人	50人	900人	1,450人	
保健所 健康増 進課	がん検診	「がん検診重点健康教育 及びがん検診の実施のた めの指針」(厚生労働省) に基づき、胃、大腸、結 核・肺、乳、子宮の各がん 検診の実施。	柏市医師会 ちば県民保健 予防財団 医療センター	各がんの早期 発見、早期治療 に結びつける。				△	○	○	がん検診受診率/ 受診者数					がん検診受診率の分母となる数値 は5年毎に計算され、同じ数値を5年 間使用する。切り替え年度である平 成29年度は、以前より微増の分母 により算出されるため、全体の受診 率が低めに現れている。 がん検診を職域で実施する事業 所が増えていることや、高齢によっ て、検診よりも保険診療で検査を受 ける市民は、これからも増えると予 測される。	平成30年度から、胃 がん検診に内視鏡検 査を、大腸がん検診 に集団検診を、乳が ん検診に2方向マンモ グラフィーを、それぞ れ新規導入した。 胃がん検診と乳が ん検診の受診間隔 は、毎年2年毎に 変更となった。 国は、いずれ胃が ん検診の対象を50歳 以上に引き上げる方 針を出している。							
											H25	H26	H27	H28	H29				胃がん検診					
											11.1%	10.3%	9.8%	9.3%	8.2%				11,955人	11,152人	10,612人	10,043人	9,623人	
											大腸がん検診								19.4%	18.6%	19.9%	18.1%	16.5%	
											20,993人	20,125人	21,497人	19,575人	19,442人				子宮頸がん検診 ※H25年度より受診間隔を2年に1回に変更					
											20.5%	29.5%	26.3%	28.4%	26.6%				19,063人	8,349人	16,163人	10,230人	14,566人	
											乳がん検診								28.3%	29.1%	29.4%	30.7%	30.0%	
											23,810人	24,485人	24,779人	25,865人	25,678人				結核・肺がん検診					
											16.0%	15.1%	15.8%	16.0%	14.7%				17,239人	16,332人	17,124人	17,336人	17,264人	



所管課	事業名	事業概要 (対象者・内容等)	連携機関	期待する効果	ライフステージ						実績値 (実施回数・参加者数・参加率等)	平成29年度取り組みの成果, 今後の課題と 考察及び平成30年度の取り組みについて	平成31年度の方向性	委員の評価・アドバイス								
					乳幼児期	学童期	思春期	成年期	壮年期	高齢期												
保健所 健康増 進課	新たなス テージに入っ たがん検診 の総合支援 事業 (* )	特定の年齢のかたに無料 クーポン, 検診手帳(啓発 用)を送付し, 該当するが ん検診について, 無料で 受診することができる。 対象となるがん検診は, 乳, 子宮頸がん検診(大 腸はH27年度まで実施)。  精密検査未受診者に対す る受診勧奨通知及び特定 の年齢に達する対象者へ の受診勧奨を行う。	柏市医師会 ちば県民保健 予防財団 医療センター	がん検診を受け るきっかけとし て, 今まで受診 したことがない 人が受診するこ とで, 受診率向 上に寄与する。					○	○	クーポン利用率					平成29年度取り組みの成果, 今後の課題と 考察及び平成30年度の取り組みについて  20歳の子宮頸がん, 40歳の乳がん は, 病気を自分の問題としてとらえ にくい年齢ではあるが, 無料クー ポン券によるお試し体験で, 検診の マイナスイメージを払拭してもら う意義は大きい。 精検未受診者への受診再勧奨に おいては, 「未受診者」と「未把握 者」の定義を明確にして, 現状を正 確に把握するよう努めている。	芸能人などが発症す ると, 受診者数は増 加する。乳がん検診 については, それ が顕著に表れている。 子宮頸がん検診の クーポン利用率の低 迷については検証が 必要だが, 今後も地 道に受診を勧めてい く。					
										H25	H26	H27	H28	H29	大腸がん							
										14.1%	9.6%	7.6%	廃止	—	乳がん							
										25.3%	9.5%	16.0%	12.0%	24.5%	子宮頸がん							
										18.1%	8.1%	11.3%	4.6%	2.9%								